

(様式第 10)

富大病総第 184 号  
平成 28 年 10 月 5 日

厚生労働大臣

殿

国立大学法人富山大学長  
開設者名 遠藤俊郎 (印)

国立大法人富山大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 27 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

|     |                     |
|-----|---------------------|
| 住 所 | 〒930-8555 富山市五福3190 |
| 氏 名 | 国立大学法人富山大学          |

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

|                |
|----------------|
| 国立大学法人富山大学附属病院 |
|----------------|

3 所在の場所

|                        |                 |
|------------------------|-----------------|
| 〒930-0194<br>富山市杉谷2630 | 電話(076)434-2281 |
|------------------------|-----------------|

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

|  |
|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜  |
| <input type="checkbox"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜 |

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

|  |   |
|--|---|
| 内科   | <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 |
| 内科と組み合わせた診療科名等   |   |
| 1 呼吸器内科 2 消化器内科 3 循環器内科 4 神経内科 5 血液内科 6 内分泌内科 7 代謝内科<br>8 感染症内科 9 10 11 12 13 14 |   |
| 診療実績   |   |

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で

医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

|               |       |    |    |    |    |    |
|---------------|-------|----|----|----|----|----|
| 外科            | ⑦ ・ 無 |    |    |    |    |    |
| 外科と組み合わせた診療科名 |       |    |    |    |    |    |
| 1             | 2     | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  |
| 8             | 9     | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 診療実績          |       |    |    |    |    |    |

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

|         |      |       |        |        |         |       |
|---------|------|-------|--------|--------|---------|-------|
| ①精神科    | ②小児科 | ③整形外科 | ④脳神経外科 | ⑤皮膚科   | ⑥泌尿器科   | 7産婦人科 |
| ⑧産科     | ⑨婦人科 | ⑩眼科   | ⑪耳鼻咽喉科 | 12放射線科 | ⑬放射線診断科 |       |
| ⑭放射線治療科 | ⑮麻酔科 | ⑯救急科  |        |        |         |       |

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

|               |       |   |   |   |   |   |
|---------------|-------|---|---|---|---|---|
| 歯科            | ⑦ ・ 無 |   |   |   |   |   |
| 歯科と組み合わせた診療科名 |       |   |   |   |   |   |
| 1             | 2     | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 歯科の診療体制       |       |   |   |   |   |   |

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

|    |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  |
| 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

|     |     |    |    |      |      |
|-----|-----|----|----|------|------|
| 精神  | 感染症 | 結核 | 療養 | 一般   | 合計   |
| 43床 | 床   | 床  | 床  | 569床 | 612床 |

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成 28 年 10 月 1 日現在)

| 職 種   | 常 勤  | 非常勤  | 合 計    | 職 種     | 員 数 | 職 種         | 員 数  |
|-------|------|------|--------|---------|-----|-------------|------|
| 医 師   | 329人 | 38人  | 346.3人 | 看護補助者   | 9人  | 診療エックス線技師   | 0人   |
| 歯科医師  | 13人  | 5人   | 14.6人  | 理学療法士   | 5人  | 臨床検査技師      | 40人  |
| 薬 剤 師 | 33人  | 0人   | 33.0人  | 作業療法士   | 1人  | 衛生検査技師      | 0人   |
| 保 健 師 | 0人   | 0人   | 0人     | 視能訓練士   | 6人  | その他         | 0人   |
| 助 産 師 | 37人  | 0人   | 37人    | 義肢装具士   | 0人  | あん摩マッサージ指圧師 | 0人   |
| 看 護 師 | 630人 | 7.2人 | 637.2人 | 臨床工学士   | 12人 | 医療社会事業従事者   | 0人   |
| 准看護師  | 0人   | 0人   | 0人     | 栄 養 士   | 2人  | その他の技術員     | 15人  |
| 歯科衛生士 | 2人   | 0人   | 2人     | 歯科技工士   | 0人  | 事務職員        | 109人 |
| 管理栄養士 | 5人   | 0人   | 5人     | 診療放射線技師 | 30人 | その他の職員      | 18人  |

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成 28 年 10 月 1 日現在)

| 専門医名      | 人 数 | 専門医名      | 人 数  |
|-----------|-----|-----------|------|
| 総合内科専門医   | 37人 | 眼 科 専 門 医 | 10人  |
| 外 科 専 門 医 | 20人 | 耳鼻咽喉科専門医  | 7人   |
| 精神科専門医    | 6人  | 放射線科専門医   | 8人   |
| 小児科専門医    | 22人 | 脳神経外科専門医  | 10人  |
| 皮膚科専門医    | 6人  | 整形外科専門医   | 12人  |
| 泌尿器科専門医   | 6人  | 麻酔科専門医    | 14人  |
| 産婦人科専門医   | 18人 | 救急科専門医    | 4人   |
|           |     | 合 計       | 180人 |

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 齋藤 滋 ) 任命年月日 平成22年10月17日

- 平成22年10月17日～平成27年9月30日、医療安全管理委員会 4号委員 (診療科長)。
- 平成28年3月6日～平成28年3月31日、医療安全管理委員会委員長 1号委員 (病院長事務取扱)。
- 平成28年4月1日～平成30年3月31日、医療安全管理委員会委員長 1号委員 (病院長)。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

|              | 歯科等以外    | 歯科等   | 合計       |
|--------------|----------|-------|----------|
| 1日当たり平均入院患者数 | 505.2人   | 13.0人 | 518.2人   |
| 1日当たり平均外来患者数 | 1,183.6人 | 49.6人 | 1,223.2人 |
| 1日当たり平均調剤数   | 445.6剤   |       |          |
| 必要医師数        | 122.3人   |       |          |
| 必要歯科医師数      | 4.1人     |       |          |
| 必要薬剤師数       | 18.0人    |       |          |
| 必要(准)看護師数    | 303.0人   |       |          |

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

| 施設名      | 床面積  | 主要構造     | 設 備 概 要  |      |         |            |
|----------|--|----------|--|------|---------|------------|
| 集中治療室    | 367 m <sup>2</sup>                               | 鉄筋コンクリート | 病床数  | 21床  | 心電計     | ㊦・無        |
|          |  |          | 人工呼吸装置   | ㊦・無  | 心細動除去装置 | ㊦・無        |
|          |  |          | その他の救急蘇生装置                                     | ㊦・無  | ペースメーカー | ㊦・無        |
| 無菌病室等    | [固定式の場合] 床面積 268 m <sup>2</sup><br>[移動式の場合] 台数 台 |          | 病床数  | 23 床 |         |            |
| 医薬品情報管理室 | [専用室の場合] 床積 36 m <sup>2</sup><br>[共用室の場合] 共用する室名 |          |  |      |         |            |
| 化学検査室    | 432 m <sup>2</sup>                               | 鉄筋コンクリート | (主な設備) 臨床検査自動化システム、総合検査管理システムなど                |      |         |            |
| 細菌検査室    | 96 m <sup>2</sup>                                | 鉄筋コンクリート | (主な設備) 細菌検査システム、マイクロスキャンWalkAway 96Siリファージュ など |      |         |            |
| 病理検査室    | 113 m <sup>2</sup>                               | 鉄筋コンクリート | (主な設備) 病理診断支援システム、自動免疫染色装置など                   |      |         |            |
| 病理解剖室    | 78 m <sup>2</sup>                                | 鉄筋コンクリート | (主な設備) 感染症対策解剖台システム、強制排気切出し台など                 |      |         |            |
| 研究室      | 7,463 m <sup>2</sup>                             | 鉄筋コンクリート | (主な設備) 倒立型リサーチ顕微鏡システム、デジタルマイクロスコープ など          |      |         |            |
| 講義室      | 358 m <sup>2</sup>                               | 鉄筋コンクリート | 室数   | 2 室  | 収容定員    | 388 人      |
| 図書室      | 3,528 m <sup>2</sup>                             | 鉄筋コンクリート | 室数   | 1 室  | 蔵書数     | 220,093冊程度 |

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

|      |                       |                          |       |
|------|-----------------------|--------------------------|-------|
| 算定期間 |                       | 平成27年 4月 1日～平成28年 3月 31日 |       |
| 紹介率  | 70.8%                 | 逆紹介率                     | 58.4% |
| 算出根拠 | A：紹介患者の数              | 8,168人                   |       |
|      | B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数  | 7,296人                   |       |
|      | C：救急用自動車によって搬入された患者の数 | 686人                     |       |
|      | D：初診の患者の数             | 12,497人                  |       |

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

| 氏名 | 所属 | 委員長<br>(○を付す) | 選定理由 | 利害関係 | 委員の要件<br>該当状況 |
|----|----|---------------|------|------|---------------|
|    |    |               |      | 有・無  |               |

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

|               |     |
|---------------|-----|
| 委員名簿の公表の有無    | 有・無 |
| 委員の選定理由の公表の有無 | 有・無 |
| 公表の方法         |     |





## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 3 その他の高度の医療

|   |                       |       |      |
|---|-----------------------|-------|------|
| 医療技術名   | 経気管支超音波画像下リンパ節生検      | 取扱患者数 | 14人  |
| 当該医療技術の概要<br>縦隔リンパ節病変は悪性腫瘍転移や悪性リンパ腫などがあり組織診断が重要となる。気管支内視鏡先端に超音波装置のついた特殊内視鏡を用いて比較的 low 侵襲で検査が行える。  |                       |       |      |
| 医療技術名   | 冠動脈CT撮影               | 取扱患者数 | 5人   |
| 当該医療技術の概要<br>冠動脈の状態を調べるために、造影剤を急速静注したのち、心電図と同期して心臓全体の撮影を行う。専用の3Dワークステーションを用いて、冠動脈の解析を行える。心臓カテーテル検査より安全、簡便に検査可能である。                      |                       |       |      |
| 医療技術名   | 心臓MRI                 | 取扱患者数 | 20人  |
| 当該医療技術の概要<br>シネMRIは現在最も正確な心機能と局所壁運動の診断法であり、遅延造影MRIは現在最も正確な心筋梗塞の画像診断法である。空間分解能が高いため右室梗塞や心内膜化梗塞も明瞭に診断できる。(冠動脈病変の非侵襲的診断法に関するガイドラインICS2009) |                       |       |      |
| 医療技術名   | 経皮的心房中隔欠損閉鎖術          | 取扱患者数 | 4人   |
| 当該医療技術の概要<br>心房中隔欠損症に対してカテーテルにより閉塞栓を用いて閉鎖術を行っている。   |                       |       |      |
| 医療技術名   | 先天性心疾患のカテーテル治療        | 取扱患者数 | 40人  |
| 当該医療技術の概要<br>動脈管開存、肺動脈狭窄、大動脈狭窄のカテーテル治療の他、フォンタン術後患者の側副血管に対するコイル塞栓術を行っている。  |                       |       |      |
| 医療技術名   | 心筋緻密化障害を含む心筋症の遺伝子解析   | 取扱患者数 | 25人  |
| 当該医療技術の概要<br>全国から心筋症の遺伝子解析の依頼を受け、年間50例の解析を行っている。  |                       |       |      |
| 医療技術名   | 新生児心臓手術               | 取扱患者数 | 21人  |
| 当該医療技術の概要<br>複雑な先天性心疾患を有する新生児に対して心臓手術を行っている。  |                       |       |      |
| 医療技術名   | ステントグラフトによる大動脈瘤治療     | 取扱患者数 | 46人  |
| 当該医療技術の概要<br>大動脈瘤を有するハイリスク症例に対してステントグラフトを用いた低侵襲治療を行っている。  |                       |       |      |
| 医療技術名   | 肺がんに対する完全鏡視下肺葉切除術     | 取扱患者数 | 32人  |
| 当該医療技術の概要<br>肺がんに対する低侵襲手術としてすべての操作を胸腔鏡下に行う肺葉切除術を行っている。  |                       |       |      |
| 医療技術名   | 冠動脈CT撮影               | 取扱患者数 | 475人 |
| 当該医療技術の概要<br>冠動脈の状態を調べるために、造影剤を急速静注したのち、心電図と同期して心臓全体の撮影を行う。専用の3Dワークステーションを用いて、冠動脈の解析を行える。心臓カテーテル検査より安全、簡便に検査可能である。                      |                       |       |      |
| 医療技術名   | 心房(室)細動のカテーテル・アブレーション | 取扱患者数 | 95人  |
| 当該医療技術の概要<br>抗不整脈薬が無効な心房細動の根治術として高周波エネルギーを用いたアブレーションを行っている。   |                       |       |      |
| 医療技術名   | 慢性血栓性肺高血圧に対するカテーテル治療  | 取扱患者数 | 19人  |
| 当該医療技術の概要   |                       |       |      |

慢性血栓塞栓性肺高血圧は、薬物治療に抵抗性であり、閉塞した肺動脈をバルーンで拡張することにより肺高血圧の軽減を図る。

|       |                    |       |     |
|-------|--------------------|-------|-----|
| 医療技術名 | 心不全・虚血性心疾患に対する和温療法 | 取扱患者数 | 33人 |
|-------|--------------------|-------|-----|

当該医療技術の概要

薬剤治療抵抗性の心不全や狭心症例に対して、全身の温熱療法(和温療法)により心機能改善・QOLや運動耐容能改善を図る。

|       |       |       |     |
|-------|-------|-------|-----|
| 医療技術名 | 心臓MRI | 取扱患者数 | 10人 |
|-------|-------|-------|-----|

当該医療技術の概要

シネMRIは現在最も正確な心機能と局所壁運動の診断法であり、遅延造影MRIは現在最も正確な心筋梗塞の画像診断法である。空間分解能が高いため右室梗塞や心内膜化梗塞も明瞭に診断できる。(冠動脈病変の非侵襲的診断法に関するガイドラインICS2009)

|       |              |       |    |
|-------|--------------|-------|----|
| 医療技術名 | LDLアフェレーシス療法 | 取扱患者数 | 0人 |
|-------|--------------|-------|----|

当該医療技術の概要

難治性ネフローゼ症候群や閉塞性動脈硬化症に対して、LDLアフェレーシス療法を行っている。

|       |               |       |     |
|-------|---------------|-------|-----|
| 医療技術名 | 経カテーテル大動脈弁留置術 | 取扱患者数 | 30人 |
|-------|---------------|-------|-----|

当該医療技術の概要

手術に耐えられない、あるいは手術リスクが非常に高い患者さんに対して、カテーテルを用いた体への負担が小さい治療であるTAVI(バルーンカテーテルに人工弁を乗せて大動脈弁まで運び、バルーンを拡張して留置する手術)を行っている。

|       |  |       |   |
|-------|--|-------|---|
| 医療技術名 |  | 取扱患者数 | 人 |
|-------|--|-------|---|

当該医療技術の概要

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

|    | 疾患名                        | 患者数 |     | 疾患名                  | 患者数 |
|----|----------------------------|-----|-----|----------------------|-----|
| 1  | 球脊髄性筋萎縮症                   | 4   | 56  | ベーチェット病              | 40  |
| 2  | 筋萎縮性側索硬化症                  | 15  | 57  | 特発性拡張型心筋症            | 39  |
| 3  | 脊髄性筋萎縮症                    | 3   | 58  | 肥大型心筋症               | 4   |
| 4  | 原発性側索硬化症                   | 0   | 59  | 拘束型心筋症               | 0   |
| 5  | 進行性核上性麻痺                   | 11  | 60  | 再生不良性貧血              | 5   |
| 6  | パーキンソン病                    | 212 | 61  | 自己免疫性溶血性貧血           | 1   |
| 7  | 大脳皮質基底核変性症                 | 10  | 62  | 発作性夜間ヘモグロビン尿症        | 2   |
| 8  | ハンチントン病                    | 4   | 63  | 特発性血小板減少性紫斑病         | 23  |
| 9  | 神経有棘赤血球症                   | 0   | 64  | 血栓性血小板減少性紫斑病         | 0   |
| 10 | シャルコー・マリー・トウス病             | 0   | 65  | 原発性免疫不全症候群           | 6   |
| 11 | 重症筋無力症                     | 45  | 66  | IgA腎症                | 3   |
| 12 | 先天性筋無力症候群                  | 0   | 67  | 多発性嚢胞腎               | 6   |
| 13 | 多発性硬化症／視神経脊髄炎              | 64  | 68  | 黄色靱帯骨化症              | 9   |
| 14 | 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー | 15  | 69  | 後縦靱帯骨化症              | 53  |
| 15 | 封入体筋炎                      | 0   | 70  | 広範脊柱管狭窄症             | 7   |
| 16 | クドウ・深瀬症候群                  | 1   | 71  | 特発性大腿骨頭壊死症           | 23  |
| 17 | 多系統萎縮症                     | 20  | 72  | 下垂体性ADH分泌異常症         | 3   |
| 18 | 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)        | 54  | 73  | 下垂体性TSH分泌亢進症         | 0   |
| 19 | ライソゾーム病                    | 0   | 74  | 下垂体性PRL分泌亢進症         | 9   |
| 20 | 副腎白質ジストロフィー                | 0   | 75  | クッシング病               | 2   |
| 21 | ミトコンドリア病                   | 10  | 76  | 下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症     | 2   |
| 22 | もやもや病                      | 46  | 77  | 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症      | 10  |
| 23 | プリオン病                      | 3   | 78  | 下垂体前葉機能低下症           | 26  |
| 24 | 亜急性硬化性全脳炎                  | 0   | 79  | 家族性高コレステロール血症(ホモ接合体) | 0   |
| 25 | 進行性多巣性白質脳症                 | 0   | 80  | 甲状腺ホルモン不応症           | 0   |
| 26 | HTLV-1関連脊髄症                | 1   | 81  | 先天性副腎皮質酵素欠損症         | 1   |
| 27 | 特発性基底核石灰化症                 | 1   | 82  | 先天性副腎低形成症            | 0   |
| 28 | 全身性アミロイドーシス                | 3   | 83  | アジソン病                | 0   |
| 29 | ウルリッヒ病                     | 0   | 84  | サルコイドーシス             | 56  |
| 30 | 遠位型ミオパチー                   | 0   | 85  | 特発性間質性肺炎             | 19  |
| 31 | ベスレムミオパチー                  | 0   | 86  | 肺動脈性肺高血圧症            | 11  |
| 32 | 自己食空胞性ミオパチー                | 0   | 87  | 肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症       | 0   |
| 33 | シュワルツ・ヤンペル症候群              | 0   | 88  | 慢性血栓塞栓性肺高血圧症         | 10  |
| 34 | 神経線維腫症                     | 19  | 89  | リンパ管筋腫症              | 2   |
| 35 | 天疱瘡                        | 10  | 90  | 網膜色素変性症              | 59  |
| 36 | 表皮水疱症                      | 2   | 91  | バッド・キアリ症候群           | 0   |
| 37 | 膿疱性乾癬(汎発型)                 | 2   | 92  | 特発性門脈圧亢進症            | 0   |
| 38 | スティーヴンス・ジョンソン症候群           | 0   | 93  | 原発性胆汁性肝硬変            | 38  |
| 39 | 中毒性表皮壊死症                   | 0   | 94  | 原発性硬化性胆管炎            | 1   |
| 40 | 高安動脈炎                      | 14  | 95  | 自己免疫性肝炎              | 3   |
| 41 | 巨細胞性動脈炎                    | 0   | 96  | クローン病                | 87  |
| 42 | 結節性多発動脈炎                   | 4   | 97  | 潰瘍性大腸炎               | 120 |
| 43 | 顕微鏡的多発血管炎                  | 13  | 98  | 好酸球性消化管疾患            | 1   |
| 44 | 多発血管炎性肉芽腫症                 | 6   | 99  | 慢性特発性偽性腸閉塞症          | 0   |
| 45 | 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症             | 5   | 100 | 巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症      | 0   |
| 46 | 悪性関節リウマチ                   | 19  | 101 | 腸管神経節細胞減少症           | 0   |
| 47 | パージャール病                    | 12  | 102 | ルビンシュタイン・テイビ症候群      | 0   |
| 48 | 原発性抗リン脂質抗体症候群              | 0   | 103 | CFC症候群               | 0   |
| 49 | 全身性エリテマトーデス                | 150 | 104 | コステロ症候群              | 0   |
| 50 | 皮膚筋炎／多発性筋炎                 | 65  | 105 | チャージ症候群              | 0   |
| 51 | 全身性強皮症                     | 57  | 106 | クリオピリン関連周期熱症候群       | 0   |
| 52 | 混合性結合組織病                   | 31  | 107 | 全身型若年性特発性関節炎         | 0   |
| 53 | シェーグレン症候群                  | 12  | 108 | TNF受容体関連周期性症候群       | 0   |
| 54 | 成人スチル病                     | 7   | 109 | 非典型溶血性尿毒症症候群         | 0   |
| 55 | 再発性多発軟骨炎                   | 3   | 110 | ブラウ症候群               | 0   |

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

|     | 疾患名                            | 患者数 |     | 疾患名                | 患者数 |
|-----|--------------------------------|-----|-----|--------------------|-----|
| 111 | 先天性ミオパチー                       | 0   | 161 | 家族性良性慢性天疱瘡         | 0   |
| 112 | マリネスコ・シェーグレン症候群                | 0   | 162 | 類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。) | 0   |
| 113 | 筋ジストロフィー                       | 2   | 163 | 特発性後天性全身性無汗症       | 0   |
| 114 | 非ジストロフィー性ミオトニー症候群              | 0   | 164 | 眼皮膚白皮症             | 0   |
| 115 | 遺伝性周期性四肢麻痺                     | 0   | 165 | 肥厚性皮膚骨膜炎           | 0   |
| 116 | アトピー性脊髄炎                       | 0   | 166 | 弾性線維性仮性黄色腫         | 0   |
| 117 | 脊髄空洞症                          | 0   | 167 | マルファン症候群           | 0   |
| 118 | 脊髄髄膜瘤                          | 0   | 168 | エーラス・ダンロス症候群       | 0   |
| 119 | アイザックス症候群                      | 0   | 169 | メンケス病              | 0   |
| 120 | 遺伝性ジストニア                       | 0   | 170 | オクシピタル・ホーン症候群      | 0   |
| 121 | 神経フェリチン症                       | 0   | 171 | ウィルソン病             | 0   |
| 122 | 脳表ヘモジデリン沈着症                    | 0   | 172 | 低ホスファターゼ症          | 0   |
| 123 | 禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性<br>白質脳症     | 0   | 173 | VATER症候群           | 0   |
| 124 | 皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優<br>性脳動脈症    | 0   | 174 | 那須・ハコラ病            | 0   |
| 125 | 神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性び<br>まん性白質脳症 | 0   | 175 | ウィーバー症候群           | 0   |
| 126 | ペリー症候群                         | 0   | 176 | コフィン・ローリー症候群       | 0   |
| 127 | 前頭側頭葉変性症                       | 0   | 177 | 有馬症候群              | 0   |
| 128 | ピッカーstaff脳幹脳炎                  | 0   | 178 | モワット・ウィルソン症候群      | 0   |
| 129 | 痙攣重積型(二相性)急性脳症                 | 0   | 179 | ウィリアムズ症候群          | 0   |
| 130 | 先天性無痛無汗症                       | 0   | 180 | ATR-X症候群           | 0   |
| 131 | アレキサンダー病                       | 0   | 181 | クルーゾン症候群           | 0   |
| 132 | 先天性核上性球麻痺                      | 0   | 182 | アペール症候群            | 0   |
| 133 | メビウス症候群                        | 0   | 183 | ファイファー症候群          | 0   |
| 134 | 中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群            | 0   | 184 | アントレー・ピクスラー症候群     | 0   |
| 135 | アイカルディ症候群                      | 0   | 185 | コフィン・シリズ症候群        | 0   |
| 136 | 片側巨脳症                          | 0   | 186 | ロスムンド・トムソン症候群      | 0   |
| 137 | 限局性皮質異形成                       | 0   | 187 | 歌舞伎症候群             | 0   |
| 138 | 神経細胞移動異常症                      | 0   | 188 | 多脾症候群              | 0   |
| 139 | 先天性大脳白質形成不全症                   | 0   | 189 | 無脾症候群              | 0   |
| 140 | ドラベ症候群                         | 0   | 190 | 鰓耳腎症候群             | 0   |
| 141 | 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん               | 0   | 191 | ウェルナー症候群           | 0   |
| 142 | ミオクロニー欠神てんかん                   | 0   | 192 | コケイン症候群            | 0   |
| 143 | ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん              | 0   | 193 | プラダー・ウィリ症候群        | 1   |
| 144 | レノックス・ガストー症候群                  | 0   | 194 | ソトス症候群             | 0   |
| 145 | ウエスト症候群                        | 0   | 195 | ヌーナン症候群            | 0   |
| 146 | 大田原症候群                         | 0   | 196 | ヤング・シンブソン症候群       | 0   |
| 147 | 早期ミオクロニー脳症                     | 0   | 197 | 1p36欠失症候群          | 0   |
| 148 | 遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん               | 0   | 198 | 4p欠失症候群            | 0   |
| 149 | 片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群               | 0   | 199 | 5p欠失症候群            | 0   |
| 150 | 環状20番染色体症候群                    | 0   | 200 | 第14番染色体父親性ダイソミー症候群 | 0   |
| 151 | ラスムッセン脳炎                       | 0   | 201 | アンジェルマン症候群         | 0   |
| 152 | PCDH19関連症候群                    | 0   | 202 | スミス・マギニス症候群        | 0   |
| 153 | 難治頻回部分発作重積型急性脳炎                | 0   | 203 | 22q11.2欠失症候群       | 0   |
| 154 | 徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん<br>性脳症      | 0   | 204 | エマヌエル症候群           | 0   |
| 155 | ランドウ・クレフナー症候群                  | 0   | 205 | 脆弱X症候群関連疾患         | 0   |
| 156 | レット症候群                         | 0   | 206 | 脆弱X症候群             | 0   |
| 157 | スタージ・ウェーバー症候群                  | 0   | 207 | 総動脈幹遺残症            | 0   |
| 158 | 結節性硬化症                         | 2   | 208 | 修正大血管転位症           | 0   |
| 159 | 色素性乾皮症                         | 0   | 209 | 完全大血管転位症           | 0   |
| 160 | 先天性魚鱗癬                         | 2   | 210 | 単心室症               | 0   |

## 4 指定難病についての診療

| 疾患名 |                              | 患者数 | 疾患名 |                            | 患者数 |
|-----|------------------------------|-----|-----|----------------------------|-----|
| 211 | 左心低形成症候群                     | 0   | 259 | レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症 | 0   |
| 212 | 三尖弁閉鎖症                       | 0   | 260 | シトステロール血症                  | 0   |
| 213 | 心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症            | 0   | 261 | タンジール病                     | 0   |
| 214 | 心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症              | 0   | 262 | 原発性高カイロミクロン血症              | 0   |
| 215 | ファロー四徴症                      | 0   | 263 | 脳腫黄色腫症                     | 1   |
| 216 | 両大血管右室起始症                    | 0   | 264 | 無βリポタンパク血症                 | 0   |
| 217 | エプスタイン病                      | 0   | 265 | 脂肪萎縮症                      | 0   |
| 218 | アルポート症候群                     | 0   | 266 | 家族性地中海熱                    | 1   |
| 219 | ギャロウェイ・モフト症候群                | 0   | 267 | 高IgD症候群                    | 0   |
| 220 | 急速進行性糸球体腎炎                   | 0   | 268 | 中條・西村症候群                   | 0   |
| 221 | 抗糸球体基底膜腎炎                    | 0   | 269 | 化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群    | 0   |
| 222 | 一次性ネフローゼ症候群                  | 3   | 270 | 慢性再発性多発性骨髄炎                | 0   |
| 223 | 一次性膜性増殖性糸球体腎炎                | 0   | 271 | 強直性脊椎炎                     | 3   |
| 224 | 紫斑病性腎炎                       | 1   | 272 | 進行性骨化性線維異形成症               | 0   |
| 225 | 先天性腎性尿崩症                     | 0   | 273 | 肋骨異常を伴う先天性側弯症              | 0   |
| 226 | 間質性膀胱炎(ハンナ型)                 | 0   | 274 | 骨形成不全症                     | 0   |
| 227 | オスラー病                        | 0   | 275 | タナトフォリック骨異形成症              | 0   |
| 228 | 閉塞性細気管支炎                     | 0   | 276 | 軟骨無形成症                     | 0   |
| 229 | 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)            | 0   | 277 | リンパ管腫症/ゴーム病                | 0   |
| 230 | 肺胞低換気症候群                     | 0   | 278 | 巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)           | 0   |
| 231 | α1-アンチトリプシン欠乏症               | 0   | 279 | 巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)       | 0   |
| 232 | カーニー複合                       | 0   | 280 | 巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)        | 0   |
| 233 | ウォルフラム症候群                    | 0   | 281 | クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群       | 0   |
| 234 | ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)   | 0   | 282 | 先天性赤血球形成異常性貧血              | 0   |
| 235 | 副甲状腺機能低下症                    | 1   | 283 | 後天性赤芽球癆                    | 1   |
| 236 | 偽性副甲状腺機能低下症                  | 0   | 284 | ダイヤモンド・ブラックファン貧血           | 0   |
| 237 | 副腎皮質刺激ホルモン不応症                | 0   | 285 | ファンコニ貧血                    | 0   |
| 238 | ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症             | 1   | 286 | 遺伝性鉄芽球性貧血                  | 0   |
| 239 | ビタミンD依存性くる病/骨軟化症             | 0   | 287 | エプスタイン症候群                  | 0   |
| 240 | フェニルケトン尿症                    | 0   | 288 | 自己免疫性出血病XIII               | 0   |
| 241 | 高チロシン血症1型                    | 0   | 289 | クロンカイト・カナダ症候群              | 0   |
| 242 | 高チロシン血症2型                    | 0   | 290 | 非特異性多発性小腸潰瘍症               | 0   |
| 243 | 高チロシン血症3型                    | 0   | 291 | ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸)       | 0   |
| 244 | メープルシロップ尿症                   | 0   | 292 | 総排泄腔外反症                    | 0   |
| 245 | プロピオン酸血症                     | 0   | 293 | 総排泄腔遺残                     | 0   |
| 246 | メチルマロン酸血症                    | 0   | 294 | 先天性横隔膜ヘルニア                 | 0   |
| 247 | イソ吉草酸血症                      | 0   | 295 | 乳幼児肝巨大血管腫                  | 0   |
| 248 | グルコーストランスポーター1欠損症            | 0   | 296 | 胆道閉鎖症                      | 0   |
| 249 | グルタル酸血症1型                    | 0   | 297 | アラジール症候群                   | 0   |
| 250 | グルタル酸血症2型                    | 0   | 298 | 遺伝性膝炎                      | 0   |
| 251 | 尿素サイクル異常症                    | 0   | 299 | 嚢胞性線維症                     | 0   |
| 252 | リジン尿性蛋白不耐症                   | 0   | 300 | IgG4関連疾患                   | 1   |
| 253 | 先天性葉酸吸収不全                    | 0   | 301 | 黄斑ジストロフィー                  | 0   |
| 254 | ポルフィリン症                      | 0   | 302 | レーベル遺伝性視神経症                | 1   |
| 255 | 複合カルボキシラーゼ欠損症                | 0   | 303 | アッシャー症候群                   | 0   |
| 256 | 筋型糖原病                        | 0   | 304 | 若年発症型両側性感音難聴               | 0   |
| 257 | 肝型糖原病                        | 0   | 305 | 遅発性内リンパ水腫                  | 0   |
| 258 | ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症 | 0   | 306 | 好酸球性副鼻腔炎                   | 0   |

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

| 施設基準の種類                    | 施設基準の種類            |
|----------------------------|--------------------|
| ・特定機能病院基本料 一般病棟 7対1入院基本料   | ・救急搬送患者地域連携受入加算    |
| ・特定機能病院基本料 精神病棟 13対1入院基本料  | ・データ提出加算2          |
| ・臨床研修病院入院診療加算(基幹型)医科       | ・特定集中治療室管理料 4      |
| ・救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算      | ・ハイケアユニット入院医療管理料 1 |
| ・超急性期脳卒中加算                 | ・総合周産期特定集中治療管理料    |
| ・妊産婦緊急搬送入院加算               | ・新生児治療回復室入院医療管理料   |
| ・診療録管理体制加算 2               | ・小児入院医療管理料 2       |
| ・急性期看護補助体制加算(25対1, 5割未満)   | ・歯科外来診療環境体制加算      |
| ・看護職員夜間配置加算                | ・歯科診療特別対応連携加算      |
| ・看護補助加算2                   | ・地域歯科診療支援病院歯科初診料   |
| ・療養環境加算                    | ・                  |
| ・重症者等療養環境特別加算              | ・                  |
| ・無菌治療室管理加算 1               | ・                  |
| ・無菌治療室管理加算 2               | ・                  |
| ・精神病棟入院時医学管理加算             | ・                  |
| ・精神科身体合併症管理加算              | ・                  |
| ・がん診療連携拠点病院加算              | ・                  |
| ・医療安全対策加算1                 | ・                  |
| ・感染防止対策加算1, (感染防止対策地域連携加算) | ・                  |
| ・患者サポート体制充実加算              | ・                  |
| ・褥瘡ハイリスク患者ケア加算             | ・                  |
| ・ハイリスク妊娠管理加算               | ・                  |
| ・ハイリスク分娩管理加算               | ・                  |
| ・退院調整加算                    | ・                  |
| ・新生児特定集中治療室退院調整加算 3        | ・                  |
| ・救急搬送患者地域連携紹介加算            | ・                  |

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

| 施設基準の種類                       | 施設基準の種類                   |
|-------------------------------|---------------------------|
| ・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行期加算) | ・胎児心エコー法                  |
| ・高度難聴指導管理料                    | ・ヘッドアップティルト試験             |
| ・糖尿病合併症管理料                    | ・皮下連続式グルコース測定             |
| ・がん性疼痛緩和指導管理料                 | ・長期継続頭蓋内脳波検査              |
| ・がん患者指導管理料 1                  | ・脳磁図                      |
| ・がん患者指導管理料 2                  | ・神経学的検査                   |
| ・院内トリアージ実施料                   | ・補聴器適合検査                  |
| ・夜間休日救急搬送医学管理料                | ・ロービジョン検査判断料              |
| ・外来リハビリテーション診療料               | ・小児食物アレルギー負荷検査            |
| ・外来放射線照射診療料                   | ・内服・点滴誘発試験                |
| ・ニコチン依存症管理料                   | ・センチネルリンパ節生検(併用)          |
| ・地域連携診療計画管理料                  | ・センチネルリンパ節生検(単独)          |
| ・ハイリスク妊産婦共同管理料(I)             | ・画像診断管理加算 2               |
| ・がん治療連携計画策定料                  | ・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影    |
| ・がん治療連携管理料                    | ・CT撮影及びMRI撮影              |
| ・肝炎インターフェロン治療計画料              | ・冠動脈CT撮影加算                |
| ・薬剤管理指導料                      | ・心臓MRI撮影加算                |
| ・医療機器安全管理料1(生命維持装置使用)         | ・抗悪性腫瘍剤処方管理加算             |
| ・医療機器安全管理料2(放射線治療計画策定)        | ・外来化学療法加算 1               |
| ・持続血糖測定器加算                    | ・無菌製剤処理料                  |
| ・造血器腫瘍遺伝子検査                   | ・脳血管疾患等リハビリテーション料(II)初期加算 |
| ・HPV核酸検出                      | ・運動器リハビリテーション料(I)初期加算     |
| ・検体検査管理加算(IV)                 | ・呼吸器リハビリテーション料(I)初期加算     |
| ・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算     | ・医療保護入院等診療料               |
| ・植込型心電図検査                     | ・透析液水質確保加算 1              |
| ・時間内歩行試験                      | ・一酸化窒素吸入療法                |

| 施設基準の種類   | 施設基準の種類               |
|---|-----------------------|
| ・医科点数表第2章第10部手術の通則の5及び6<br>(歯科点数表第2章第9部手術の通則4を含む)に<br>掲げる手術 | ・腹腔鏡下肝切除術             |
| ・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算   | ・生体部分肝移植術             |
| ・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)                              | ・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術        |
| ・骨移植術(軟骨移植術を含む)(自家培養軟骨移植術に限る)                               | ・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術      |
| ・腫瘍脊椎骨全摘出術  | ・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術       |
| ・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術   | ・同種死体腎移植術             |
| ・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術                                       | ・生体腎移植術               |
| ・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))                          | ・膀胱水圧拡張術              |
| ・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)                               | ・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術        |
| ・網膜再建術  | ・輸血管管理料 I             |
| ・人工内耳植込術  | ・貯血式自己血輸血管管理体制加算      |
| ・乳がんセンチネルリンパ節加算 1   | ・人工肛門・人工膀胱造設術前処理加算    |
| ・乳がんセンチネルリンパ節加算 2   | ・麻酔管理料 ( I )          |
| ・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)                                   | ・麻酔管理料 ( II )         |
| ・経皮的冠動脈形成術  | ・放射線治療専任加算            |
| ・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによる)                                      | ・外来放射線治療加算            |
| ・経皮的冠動脈ステント留置術  | ・高エネルギー放射線治療          |
| ・経皮的大動脈弁置換術   | ・1回線量増加加算             |
| ・経皮的中隔心筋焼灼術   | ・強度変調放射線治療 (IMRT)     |
| ・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術                                     | ・画像誘導放射線治療加算 (IGRT)   |
| ・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術                                 | ・体外照射呼吸性移動対策加算        |
| ・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術                               | ・直線加速器による定位放射線治療      |
| ・植込型除細動器移植及び植込型除細動器交換術                                      | ・定位放射線治療呼吸性移動対策加算     |
| ・両室ペーシング機能付き植込型徐細動器移植術及び<br>両室ペーシング機能付き植込型徐細動器交換術           | ・保険医療機関の連携による病理診断     |
| ・大動脈バルーンパンピング法 (IABP法)                                      | ・テレパソロジーによる術中迅速病理標本作成 |
| ・補助人工心臓   | ・テレパソロジーによる術中迅速細胞診    |
| ・経皮的大動脈遮断術  | ・病理診断管理加算2            |
| ・ダメージコントロール手術   | ・歯科治療総合医療管理料          |
| ・医科点数表第2章第10部手術の通則16に掲げる手術<br>(胃瘻造設術)                       | ・医療機器安全管理料(歯科)        |

| 施設基準の種類                | 施設基準の種類 |
|------------------------|---------|
| ・歯科口腔リハビリテーション料 2      | ・       |
| ・歯周外科手術(歯周組織再生誘導手術) 1次 | ・       |
| ・広範囲顎骨支持型装置埋入手術        | ・       |
| ・クラウン・ブリッジ維持管理料        | ・       |
| ・口腔病理診断管理加算 2          | ・       |
| ・                      | ・       |
| ・                      | ・       |
| ・                      | ・       |
| ・                      | ・       |
| ・                      | ・       |
| ・                      | ・       |
| ・                      | ・       |
| ・                      | ・       |
| ・                      | ・       |
| ・                      | ・       |
| ・                      | ・       |
| ・                      | ・       |
| ・                      | ・       |
| ・                      | ・       |
| ・                      | ・       |
| ・                      | ・       |
| ・                      | ・       |
| ・                      | ・       |
| ・                      | ・       |
| ・                      | ・       |
| ・                      | ・       |
| ・                      | ・       |
| ・                      | ・       |
| ・                      | ・       |
| ・                      | ・       |



(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

| 研究課題名                                    | 研究者氏名  | 所属部門            | 金額        | 補助元又は委託元 |         |
|--|--------|-----------------|-----------|----------|---------|
|  |        |                 |           |          |         |
| 統合失調症前駆期の神経発達病態解明と生物学的早期診断法の開発           | 鈴木 道雄  | 神経精神医学          | 1,400,000 | 補<br>委   | 日本学術振興会 |
| PDGFが誘導する幹細胞を標的とした神経組織の再生と修復             | 笹原 正清  | 病態・病理学          | 3,100,000 | 補<br>委   | 日本学術振興会 |
| 新しい多能性幹細胞(Muse細胞)を用いた脳梗塞の再生治療の戦略的研究      | 黒田 敏   | 脳神経外科学          | 3,300,000 | 補<br>委   | 日本学術振興会 |
| 母体、胎児免疫相関から見た妊娠維持機構ならびにその破綻              | 齋藤 滋   | 産科婦人科学          | 4,100,000 | 補<br>委   | 日本学術振興会 |
| 発がん過程におけるインスレーターおよびメチル化機構の相互関係の解明と診断への展開 | 井村 穰二  | 病理診断学           | 900,000   | 補<br>委   | 日本学術振興会 |
| 在宅緩和ケアにおける地域連携クリニカルパスおよび緩和ケアチームの有用性の検証   | 菓子井 達彦 | 臨床腫瘍部           | 100,000   | 補<br>委   | 日本学術振興会 |
| 肺線維症モデルマウスにおいてSRT1720がHSP47発現に与える効果      | 山田 徹   | 地域医療支援学講座       | 500,000   | 補<br>委   | 日本学術振興会 |
| 肥満・糖尿病が肝がんの発症と腫瘍関連マクロファージの極性に与える影響に関する研究 | 薄井 勲   | 第一内科            | 400,000   | 補<br>委   | 日本学術振興会 |
| トリプルネガティブ乳癌におけるKLF4、Her4経路の解明と治療効果予測の研究  | 長田 拓哉  | 第二外科            | 1,200,000 | 補<br>委   | 日本学術振興会 |
| ホルター心電図による細動波(f波)周波数解析を指標とした心房細動手術の構築    | 深原 一晃  | 外科学(呼吸・循環・総合外科) | 600,000   | 補<br>委   | 日本学術振興会 |
| 追跡調査からみた腰椎椎間板ヘルニアの疾患感受性遺伝子の解明            | 川口 善治  | 整形外科            | 1,100,000 | 補<br>委   | 日本学術振興会 |
| 脊椎椎間板変性制御の病態解明および治療法の確立                  | 関 庄二   | 整形外科            | 1,100,000 | 補<br>委   | 日本学術振興会 |
| 向精神薬服用患者に対する安全な全身麻酔管理に関する基礎的研究           | 佐々木 利佳 | 麻酔科学            | 800,000   | 補<br>委   | 日本学術振興会 |
| 神経幹細胞の血管性nicheの解明および血管-神経相互作用物質の研究       | 山本 誠士  | 病態・病理学          | 1,300,000 | 補<br>委   | 日本学術振興会 |
| 超音波マイクロバブルを用いた劇症肝炎の新しい治療法の開発             | 峯村 正実  | 第三内科            | 1,100,000 | 補<br>委   | 日本学術振興会 |
| クッパー細胞を標的としたドラッグデリバリーシステムを用いたNASH治療法の開発  | 高原 照美  | 内科学(三)          | 1,300,000 | 補<br>委   | 日本学術振興会 |
| 腎除神経による心不全の自律神経概リズム異常への介入に関する研究          | 平井 忠和  | 第二内科            | 900,000   | 補<br>委   | 日本学術振興会 |

小計 17

|   |        |            |           |    |         |
|---|--------|------------|-----------|----|---------|
| M2マクロファージの2型糖尿病発症における役割                   | 戸邊 一之  | 内科学(一)     | 800,000   | 補委 | 日本学術振興会 |
| 精神病発症危険状態から統合失調症への移行に関わる脳形態変化についての研究      | 高柳 陽一郎 | 精神神経科      | 600,000   | 補委 | 日本学術振興会 |
| 精神病発症危険群における嗅覚機能および嗅覚関連脳構造に関する研究          | 高橋 努   | 神経精神医学     | 700,000   | 補委 | 日本学術振興会 |
| 難治性硬膜動静脈瘻に対する新たな治療:ベバシズマブの治療効果の解明         | 秋岡 直樹  | 脳神経外科      | 1,100,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 無症候性頸動脈狭窄症における認知機能障害の治療効果に関する前向き研究        | 桑山 直也  | 脳神経外科学     | 200,000   | 補委 | 日本学術振興会 |
| 統合失調症による全身麻酔修飾機序の解明 一海馬/扁桃体における脳科学的研究一    | 廣田 弘毅  | 麻酔科学       | 800,000   | 補委 | 日本学術振興会 |
| 体内時計である睡眠中枢の機能改善により神経障害性疼痛は軽快するか          | 山崎 光章  | 麻酔科学       | 1,100,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| ストレスが子宮内膜症の免疫系ならびに病態進展に与える影響についての検討       | 吉野 修   | 産科婦人科学     | 1,100,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 大脳性平衡機能検査確立を目指した複数非侵襲的脳機能検査統合システム構築       | 將積 日出夫 | 耳鼻咽喉科頭頸部外科 | 500,000   | 補委 | 日本学術振興会 |
| 免疫抑制性細胞を標的とした口腔癌顎骨浸潤に対する新たな治療戦略の開発        | 野口 誠   | 歯科口腔外科学    | 1,300,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 順応性自動制御換気(ASV)療法でのより安全な心臓リハビリテーションモデルの構築  | 城宝 秀司  | 内科学(二)     | 2,500,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 一次繊毛に発現するPDGF受容体の神経幹細胞と神経細胞新生における役割の解明    | 石井 陽子  | 病理学(二)     | 1,200,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 蛍光相関分光法による炎症関連転写因子活性定量プロファイル解析の臨床検査への展開   | 北島 勲   | 臨床分子病態検査学  | 1,200,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 検体中の生菌数を感染症重症度や治療効果の新たな指標とする検査技術の開発       | 仁井見英樹  | 検査部        | 1,400,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| NSAIDs小腸潰瘍の初期病変に関連する標的分子TRPイオンチャネル        | 杉山 敏郎  | 内科学(三)     | 1,500,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| アクアポリン2で選定したレスポonderにおけるトルバプタン長期投与の有効性の検討 | 絹川弘一郎  | 内科学(二)     | 1,200,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 心房細動の発症におけるp53-miR34a-SIRT1フィードバック回路の役割   | 西田 邦洋  | 第二内科       | 1,000,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 関節炎モデルマウスにおけるCD206陽性M2マクロファージの役割の検討       | 篠田晃一郎  | 内科学(一)     | 2,100,000 | 補委 | 日本学術振興会 |

|  |        |        |           |    |         |
|--|--------|--------|-----------|----|---------|
| 致死性不整脈を合併する心筋緻密化障害の網羅的遺伝子解析と発症機序の解明      | 市田 露子  | 小児科学   | 2,300,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 川崎病血管炎の解明－血管微小粒子(EMPs)に焦点を当てて－           | 廣野 恵一  | 小児科学   | 1,600,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| プロフィラグリンN末領域による細胞死の分子機構の解明と皮膚癌治療への展開     | 牧野 輝彦  | 皮膚科学   | 1,300,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| D-DTとMIFの生物学的機能の解明と光老化予防および光発癌新規治療への展開   | 清水 忠道  | 皮膚科学   | 1,700,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 食道癌幹細胞マーカーを用いた血中癌細胞分離に基づく新規診断・治療標的の探索    | 奥村 知之  | 第二外科   | 1,500,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 新規樹立食道神経内分泌癌細胞株を用いた治療標的分子の探索             | 小島 博文  | 第二外科   | 1,500,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 消化器癌に対する抗腫瘍和漢薬の確立および臨床応用に関する研究           | 塚田 一博  | 外科学(二) | 1,500,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 尿路上皮癌に対する新規化学免疫療法の確立                     | 北村 寛   | 腎泌尿器科学 | 1,200,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 切迫早産例に対する最適な抗菌薬の投与が新生児予後を改善させるか否かに関する研究  | 米田 哲   | 産科婦人科  | 1,300,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| メタゲノム解析による切迫早産例、子宮内膜症例における腔内ならびに腸内細菌叢の解析 | 齋藤 滋   | 産科婦人科学 | 1,000,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 軟骨再生戦略のための軟骨最表層細胞lineageと運命の解明           | 木村 友厚  | 整形外科学  | 1,400,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| ミエロイド系抑制性細胞の形質変化を利用した口腔癌に対する免疫ワクチン療法の開発  | 富原 圭   | 歯科口腔外科 | 1,000,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| イノシトールは口唇口蓋裂を抑制する－その機序解明からCLP発症原因を探る     | 藤原 久美子 | 歯科口腔外科 | 700,000   | 補委 | 日本学術振興会 |
| 全身炎症反応症候群に対するアスタキサンチンの効果に対する研究           | 武部 真理子 | 麻酔科    | 1,000,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 父親抗原特異的免疫寛容成立に与える精漿の役割                   | 島 友子   | 産科婦人科学 | 1,200,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 化学療法剤と免疫療法を併用した口腔癌に対する新たな免疫化学療法の開発       | 今上 修一  | 歯科口腔外科 | 1,100,000 | 補委 | 日本学術振興会 |
| 消化管上皮の内腔圧受容とATP放出機構の解明                   | 三原 弘   | 第三内科   | 500,000   | 補委 | 日本学術振興会 |
| オートファジーに着目したH.pyloriによる胃がん発生メカニズムの解明     | 南條 宗八  | 第三内科   | 1,700,000 | 補委 | 日本学術振興会 |

|  |        |                  |           |        |         |
|--|--------|------------------|-----------|--------|---------|
| 胃神経内分泌癌の発生原因となる遺伝子異常の同定                  | 安藤 孝将  | 内科学(三)           | 1,400,000 | 補<br>委 | 日本学術振興会 |
| 先天性心疾患児における低酸素による脳の解剖学的異常と高次脳機能障害への影響の解明 | 伊吹圭二郎  | 周産母子センター         | 2,000,000 | 補<br>委 | 日本学術振興会 |
| 新規fused-S100蛋白質Trichohyarin like 1の機能解析  | 三澤 恵   | 皮膚科              | 1,300,000 | 補<br>委 | 日本学術振興会 |
| D-DTおよびMIFを標的とした新規メラノーマ治療法の開発            | 吉久 陽子  | 皮膚科学             | 1,600,000 | 補<br>委 | 日本学術振興会 |
| 糖尿病による全身麻酔薬の修飾作用の解明および安全な麻酔法の確立          | 本田 康子  | 麻酔科              | 1,100,000 | 補<br>委 | 日本学術振興会 |
| ofMRIで痛み伝達の脳内ネットワークと先行鎮痛による慢性痛予防の可能性を探る  | 竹村 佳記  | 麻酔科学             | 1,000,000 | 補<br>委 | 日本学術振興会 |
| 早産の病態解明ー羊水中病原微生物の迅速高感度検出システムの利用ー         | 米田 徳子  | 産科婦人科            | 1,500,000 | 補<br>委 | 日本学術振興会 |
| c-kit標的アデノウイルスによるGISTに対する新規治療法の開発        | 三浦 慶昭  | 第三内科             | 1,200,000 | 補<br>委 | 日本学術振興会 |
| Aquaporinを標的とした、胆道癌新規抗癌剤治療の探求            | 関根 慎一  | 外科学(消化器・腫瘍・総合外科) | 1,200,000 | 補<br>委 | 日本学術振興会 |
| 慢性痛が引き起こす睡眠障害の機序解明と治療法開発を目指して            | 伊東 久勝  | 麻酔科              | 1,200,000 | 補<br>委 | 日本学術振興会 |
| 変異酵素の構造安定化剤として機能するイミノ糖型シャペロンの設計と合成       | 加藤 敦   | 薬剤部              | 1,300,000 | 補<br>委 | 日本学術振興会 |
| 結核菌細胞壁の構築阻害を特徴とする新規イミノ糖型治療薬のデザイン合成研究     | 足立 伊左雄 | 薬剤部              | 1,200,000 | 補<br>委 | 日本学術振興会 |
| 効率的な生薬成分抽出法の開発とヒアルロン酸分解酵素阻害剤の探索          | 友原 啓介  | 薬剤部              | 1,200,000 | 補<br>委 | 日本学術振興会 |

小計 13

合計 66

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

### 2 論文発表等の実績

#### (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

| 番号 | 発表者氏名        | 発表者の所属 | 題名   | 雑誌名  |
|----|--------------|--------|--|--|
| 1  | Kambara K    | 第一内科   | In vivo depletion of CD206+ M2 macrophages exaggerates lung injury in endotoxemic mice.  | Am J Pathol. 2015 Jan; 185(1): 162-71.                               |
| 2  | Takikawa A   | 第一内科   | Deletion of SIRT1 in myeloid cells impairs glucose metabolism with enhancing inflammatory response to adipose tissue hypoxia.  | Diabetol Int. 2015 May 29.   |
| 3  | Inomata M    | 第一内科   | Lactate dehydrogenase and body mass index are prognostic factors in patients with recurrent small cell lung cancer receiving amrubicin.  | Tumor. 2015 Sep 30; 0. DOI:10.5301/tj.5000435. [Epub ahead of print] |
| 4  | Inomata M    | 第一内科   | Plasma neuron-specific enolase level as a prognostic marker in patients with non-small cell lung cancer receiving gefitinib.   | Mol Clin Oncol. 2015 Jul; 3(4): 802-6.                               |
| 5  | Shinoda K    | 第一内科   | Accidental cannulation of a femoral central venous catheter into the ilio-lumbar vein: Incidental detection by bone scintigraphy.  | Clin Nucl Med. 2015 Feb; 40(2): 182-3.                               |
| 6  | Shinoda K    | 第一内科   | Pulmonary reversed halo sign as a presenting manifestation of rheumatoid arthritis.  | Joint Bone Spine. 2015 May; 82(3): 207.                              |
| 7  | Shinoda K    | 第一内科   | Wild-type ATTR amyloidosis of the ureter in a 56-year-old woman with rheumatoid arthritis and Sjögren's syndrome.  | Int J Clin Exp Pathol. 2015 Jul 15; 8(7): 8624-7.                    |
| 8  | Mizawa M     | 第一内科   | Association between virtual histology intravascular ultrasound findings and subsequent coronary events in patients with acute coronary syndrome. Int Heart J. 2015; 56(2): 157-62. | Eur J Dermatol. 2015 Dec 1; 25(6): 620-2.                            |
| 9  | Sobajima M   | 第二内科   | Location of epicardial adipose tissue affects the efficacy of a combined dominant frequency and complex fractionated atrial electrogram ablation of atrial fibrillation.           | Int Heart J. 2015 Feb; 56(2): 203-8.                                 |
| 10 | Nakatani Y   | 第二内科   | Bepridil enhances aprindine-induced prolongation of atrial effective refractory period in a canine atrial rapid pacing model.  | Heart Rhythm. 2015 Feb; 12(2): 257-65.                               |
| 11 | Nakatani Y   | 第二内科   | Direct spraying of shakuyakukanzoto onto the duodenal papilla: a novel method for preventing pancreatitis following endoscopic retrograde cholangiopancreatography.                | J Cardiol. 2015 Nov; 66(5): 445-50.                                  |
| 12 | Fujinami H   | 第三内科   | Preventive effect of Rikkunshito, a traditional Japanese medicine, on chemotherapy-induced nausea and vomiting with cisplatin: Case series.  | Digestion. 2015; 91(1): 42-5.  |
| 13 | Kajjura S    | 第三内科   | Effective healing of endoscopic submucosal dissection-induced ulcers by a single week of proton pump inhibitor treatment: a retrospective study.                                   | Tradit Kampo Med. 2015 Mar; 2(1): 8-13.                              |
| 14 | Kajjura S    | 第三内科   | Amrubicin Monotherapy for Patients with Platinum-Refractory  | BMC Res Notes. 2015 Apr 15; 8: 150.                                  |
| 15 | Ando T       | 第三内科   | Role of chemokine CX3CL1 in progression of multiple myeloma via CX3CR1 in bone microenvironments.  | Gastroenterol Res Pract. 2015; 2015: 425876.                         |
| 16 | Wada A       | 第三内科   | Neutrophil/lymphocyte ratio as a prognostic indicator of hepatic arterial infusion chemotherapy with arterial cisplatin plus continuous 5-fluorouracil.                            | Oncol Rep. 2015 Jun; 33(6): 2935-9.                                  |
| 17 | Tajiri K     | 第三内科   | Sneddon-Wilkinson disease induced by sorafenib in a patient with advanced hepatocellular carcinoma.  | Hepatol Res. 2015 Jul; 45(7): 755-63.                                |
| 18 | Tajiri K     | 第三内科   | Extramammary Paget's disease occurring in the context of Cowden syndrome: true association or mere coincidence?.   | Intern Med. 2015 Jan; 54(6): 597-600.                                |
| 19 | Matsui K     | 皮膚科    | Detection of cytomegalovirus in the gastric ulcer of a patient with drug-induced hypersensitivity syndrome.  | Eur J Dermatol. 2015 Jan-Feb; 25(1): 75-6.                           |
| 20 | Kagoyama K   | 皮膚科    | Detection of IgG antibodies to desmoglein 3 and desmocollins 2 and 3 in mucosal dominant-type pemphigus vulgaris with severe pharyngalgia and hyperemia of the bulbar conjunctiva. | JAAD Case Rep. 2015 Jun 17; 1(4): 215-8.                             |
| 21 | Makino T     | 皮膚科    | Exacerbation of symptoms in Blau syndrome/early-onset sarcoidosis following delivery.  | Eur J Dermatol. 2015; 25(6): 619-20.                                 |
| 22 | Mizawa M     | 皮膚科    | Utility of TNF- $\alpha$ as a biomarker and the possibility of anti-TNF- $\alpha$ therapy for Kawasaki Diseases.   | Eur J Dermatol. 2015; 25(6): 620-2.                                  |
| 23 | Hirono K     | 小児科    | Dysgammaglobulinemia associated with a hypomorphic XIAP mutation.  | Pediat Therapeut. 2015; 5(3): 257.                                   |
| 24 | Nishida N    | 小児科    | Possible relation between olfaction and anxiety in healthy subjects.   | J Investig Allergol Clin Immunol. 2015; 25(3): 205-13.               |
| 25 | Takahashi T  | 神経精神科  | The Disrupted-in-Schizophrenia-1 Ser704Cys polymorphism and brain neurodevelopmental markers in schizophrenia and healthy subjects.  | Psychiatry Clin Neurosci. 2015 Jul; 69(7): 431-8.                    |
| 26 | Takahashi T  | 神経精神科  | Antidepressant use and lifetime history of mental disorders in a community sample: results from the Baltimore Epidemiologic Catchment Area Study.                                  | Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry. 2015 Jan 2; 56: 11-7.     |
| 27 | Takayanagi Y | 神経精神科  | Sex hormone binding globulin and verbal memory in older men.   | J Clin Psychiatry. 2015 Jan; 76(1): 40-4.                            |
| 28 | Takayanagi Y | 神経精神科  | A Case of Muscular Sarcoidosis Diagnosed using FDG-PET.  | Am J Geriatr Psychiatry. 2015 Mar; 23(3): 253-60.                    |
| 29 | Kamisaki Y   | 放射線科   | Endoscopic thyroidectomy using the EZ-VANS method.   | Toyama Med J. 2015 Mar; 25(1): 26-8.                                 |
| 30 | Nagata T,    | 第二外科   | Abnormal cell proliferation in the p75NTR-positive basal cell compartment of the esophageal epithelium during squamous carcinogenesis.   | Surg Today. 2016 May; 46(5): 575-82.                                 |
| 31 | Nagata T,    | 第二外科   |  | Anticancer Res. 2015 Feb; 35(2): 719-27.                             |
| 32 | Okumura T    | 第二外科   |  |  |

|    |                 |            |   |   |
|----|-----------------|------------|---|---|
| 33 | Okumura T       | 第二外科       | Abnormal cell proliferation in the p75NTR-positive basal cell compartment of the esophageal epithelium during squamous carcinogenesis.  | Dis Esophagus. 2015 Oct; 28(7): 634-43.                                 |
| 34 | Okumura T       | 第二外科       | Functional outcome assessment of swallowing (FOAMS) scoring and videofluoroscopic evaluation of perioperative swallowing rehabilitation in radical esophagectomy.   | Surgery Today. 2016 May; 46(5): 543-51.                                 |
| 35 | Hashimoto I     | 第二外科       | Prognostic significance of KLF4 for gastric cancer.   | Oncol Lett. 2015 May; Accented.   |
| 36 | Okumura T       | 第二外科       | Perforation of intramural gastric metastasis during preoperative chemotherapy in a patient with thoracic esophageal squamous cell carcinoma.  | Int J Surg Case Rep. 2015; 17: 23-7.                                    |
| 37 | Moriyama M      | 第二外科       | A patient with paroxysmal nocturnal hemoglobinuria being treated with eculizumab who underwent laparoscopic cholecystectomy: report of a case.  | Surg Case Rep. 2015; 1(1): 57.  |
| 38 | Kashiwazaki D   | 脳神経外科      | Pathophysiology of acute cerebrovascular syndrome in patients with carotid artery stenosis: a magnetic resonance imaging/single-photon emission computed tomography study.  | Neurosurgery. 2015 Apr; 76(4): 427-33.                                  |
| 39 | Asahi T         | 脳神経外科      | Rate of hanger reflex occurrence: Unexpected head rotation on fronto-temporal head compression.   | Neurol Med Chir (Tokyo). 2015; 55(7): 587-91.                           |
| 40 | Kuroda S        | 脳神経外科      | Specific shrinkage of carotid forks in Moyamoya disease: a novel key finding for diagnosis.   | Neurol Med Chir (Tokyo). 2015; 55(10): 796-804.                         |
| 41 | Asahi T         | 脳神経外科      | Alleviation of myoclonus after bilateral pallidal deep brain stimulation for Lance-Adams syndrome.  | J Neurol. 2015 Jun; 262(6): 1581-3.                                     |
| 42 | Kawaguchi Y     | 整形外科       | Operative strategy and underlying biomechanical principles in management of ossification of the posterior longitudinal ligament (OPLL).   | J Spine Res. 2015 May; 6(5): 877-85.                                    |
| 43 | Seki S          | 整形外科       | Clinical significance of high intramedullary signal on T2-weighted cervical flexion-extension magnetic resonance imaging in cervical myelopathy.  | J Orthop Sci. 2015 Aug; 20(6): 973-7.                                   |
| 44 | Seki S          | 整形外科       | Circumferential Spinal Cord Decompression through a Single Posterior Approach with Microendoscopy for Thoracic and Thoracolumbar Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament.                                     | Asian Spine J. 2015 Aug; 9(4): 605-11.                                  |
| 45 | Suzuki K        | 整形外科       | Bone metastasis of a gastrointestinal stromal tumor: A report of two cases.   | Oncol Lett. 2015 Apr; 9(4): 1814-8.                                     |
| 46 | Yoneda S        | 産科婦人科      | Accurate prediction for the stage of histological chorioamnionitis before delivery by amniotic fluid IL-8 level.  | Am J Reprod Immunol. 2015 Jun; 73(6): 568-76.                           |
| 47 | Shima T         | 産科婦人科      | Paternal antigen-specific proliferating regulatory T cells are increased in uterine-draining lymph nodes just before implantation and in pregnant uterus just after implantation by seminal plasma-priming in allogeneic. | J Reprod Immunol. 2015 Apr; 108: 72-82.                                 |
| 48 | Shiozaki A      | 産科婦人科      | Prenatal diagnosis of enterolithiasis at 18 weeks: multiple foci of intraluminal calcified meconium within echogenic bowel.   | J Med Ultrason. 2015 Jan; 42(1): 113-6.                                 |
| 49 | Ito M           | 産科婦人科      | Hemolytic-uremic syndrome with acute encephalopathy in a pregnant woman infected with epidemic enterohemorrhagic Escherichia coli: characteristic brain images and cytokine profiles.                                     | Int J Infect Dis. 2015 May; 34: 119-21.                                 |
| 50 | Yunoki T        | 眼科         | BAG3 protects against hyperthermic stress by modulating NF-κB and ERK activities in human retinoblastoma cells.   | Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2015 Mar; 253(3): 399-407.            |
| 51 | Tojo N          | 眼科         | Corneal decompensation following filtering surgery with the Ex-PRESS® mini glaucoma shunt device.   | Clin Ophthalmol. 2015 Mar 17; 9: 499-502.                               |
| 52 | Nakamura T      | 眼科         | Detection of cytomegalovirus in an immunocompetent adult presenting with acute retinal necrosis due to varicella-zoster virus: a case report.   | Clin Ophthalmol. 2015 May 13; 9: 853-8.                                 |
| 53 | Ueda-Consolvo T | 眼科         | Microperimetric Biofeedback Training Improved Visual Acuity after Successful Macular Hole Surgery.  | J Ophthalmol. 2015; 2015: 572942.                                       |
| 54 | Ueda-Consolvo T | 眼科         | Analysis of retinal vessels in eyes with retinitis pigmentosa by retinal oximeter.  | Acta Ophthalmol. 2015 Sep; 93(6): e446-50.                              |
| 55 | Tachino H       | 耳鼻咽喉科      | Endonasal flap suture-dacryocystorhinostomy (eFS-DCR): a new surgical technique for nasolacrimal duct obstruction (NLDO).   | Acta Otolaryngol. 2015 Feb; 135(2): 162-8.                              |
| 56 | Fujisaka M      | 耳鼻咽喉科      | A tangible head model showing semicircular canals for demonstrating the physical treatment for BPPV.  | Acta Otolaryngol. 2015 Dec; 135(12): 1212-8.                            |
| 57 | Takakura H      | 耳鼻咽喉科      | Cerebral Hemodynamic Responses During Dynamic Posturography: Analysis with a Multichannel Near-Infrared Spectroscopy System.  | Front Hum Neurosci. 2015 Nov; 9: 620.                                   |
| 58 | Kato T          | 泌尿器科       | Analysis of Japanese Patients Treated with or without Long-Term Epirubicin Plus Ara-C Intravesical Instillation Therapy for Low-Grade Superficial Bladder Cancer.   | ScientificWorldJournal. 2015; 2015: 325305.                             |
| 59 | Kato T          | 泌尿器科       | Minimally invasive endourological techniques may provide a novel method for relieving urinary obstruction due to ureteroscopic herniation.  | Case Rep Nephrol Dial. 2014 Aug 15; 5(1): 13-9. (2014年未掲載分)             |
| 60 | Inoue S         | 歯科口腔外科     | Extracellular Ca <sup>2+</sup> -dependent enhancement of cytotoxicity of zoledronic acid in human oral cancer cells.  | Eur J Pharmacol. 2015 Aug 15; 761: 44-54.                               |
| 61 | Tomihara K      | 歯科口腔外科     | Use of hyperdry amniotic membrane in operations for cleft palate: a study in rats.  | Br J Oral Maxillofac Surg. 2015 Apr; 53(4): 358-63.                     |
| 62 | Watari H        | 和漢診療科      | Comparing the effects of kamikito in Japan and kami-gubi-tang in Korea on memory enhancement: working towards the development of a global study.  | Phytother Res. 2015 Mar; 29(3): 351-6.                                  |
| 63 | Ueno T          | 検査・輸血細胞治療部 | Eukaryote-Made Thermostable DNA Polymerase Enables Rapid PCR-Based Detection of Mycoplasma, Ureaplasma and Other Bacteria in the Amniotic Fluid of Preterm Labor Cases.   | PLoS One. 2015 Jun 4; 10(6): e0129032. DOI:10.1371/journal.pone.0129032 |
| 64 | Niimi H         | 検査・輸血細胞治療部 | Melting Temperature Mapping Method: A Novel Method for Rapid Identification of Unknown Pathogenic Microorganisms within Three Hours of Sample Collection.   | Sci Rep. 2015 Jul 28; 5: 12543. DOI:10.1038/srep12543.                  |
| 65 | Tamura K        | 周産母子センター   | Increased production of intestinal immunoglobulins in Syntenin-1-deficient mice.  | Immunobiology. 2015 May; 220(5): 597-604.                               |
| 66 | Kawasaki Y      | 周産母子センター   | Neonatal acute megakaryoblastic leukemia mimicking congenital neuroblastoma.  | Clin Case Rep. 2015 Mar; 3(3): 145-9.                                   |
| 67 | Koura U         | 周産母子センター   | Successful treatment of hemochromatosis with renal tubular dysgenesis in a preterm infant.  | Clin Case Rep. 2015 Aug; 3(8): 690-3.                                   |
| 68 | Nakajima T      | 病理部        | Bone metastasis in gastrointestinal stromal tumors preferentially occurs in patients with original tumors in sites other than the stomach.  | Int J Clin Exp Pathol. 2015 May 1; 8(5): 5955-9.                        |
| 69 | Nakajima T      | 病理部        | Complete resolution of pseudomalignant erosion in a reflux gastroesophageal polyp with proton pump inhibitor.   | Case Rep Pathol. 2015; 2015: 657059.                                    |
| 70 | Kato A          | 薬剤部        | Isolation and SAR studies of bicyclic iminosugars from <i>Castanospermum australe</i> as glycosidase inhibitors.  | Phytochemistry. 2015 Mar 21; 111: 124-31.                               |

|    |            |       |   |  |
|----|------------|-------|---|--|
| 71 | Kato A     | 薬剤部   | Design and synthesis of labystegines hybrid iminosugars from LAB and calystegine as inhibitors of intestinal $\alpha$ -glucosidases: binding conformation and interaction for nSI | J Org Chem. 2015 May 1; 80(9): 4501-15.          |
| 72 | Kato A     | 薬剤部   | Protective effects of dietary 1,5-Anhydro-D-glucitol in diabetes and metabolic syndrome.  | Pacificchem2015; 2015 Dec 15-20; Honolulu.       |
| 73 | Tomohara K | 薬剤部   | Synthesis of $\alpha, \alpha$ -disubstituted hydantoin through chemoselective derivatization of natural product extracts.   | Pacificchem2015; 2015 Dec 15-20; Honolulu.       |
| 74 | Tanabe K   | 臨床腫瘍部 | Evaluation of A Novel Information-Sharing Instrument for Home-Based Palliative Care: A Feasibility Study.   | Am J Hosp Palliat Care. 2015 Sep; 32(6): 611-9.  |
| 75 | Tanabe K   | 臨床腫瘍部 | Usefulness of a Collaborative Home Visit Program Between Hospital and Visiting Nurses.  | J Hospice Palliat Nurs. 2015 Dec; 17(6): 524-35. |
|    |            |       |   |  |
|    |            |       |   |  |
|    |            |       |   |  |

小計 5

合計 75

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

| 番号 | 発表者氏名 | 発表者の所属 | 題名 | 雑誌名 |
|----|-------|--------|----|-----|
| 1  |       |        |    |     |
| 2  |       |        |    |     |
| 3  |       |        |    |     |
| 4  |       |        |    |     |
| 5  |       |        |    |     |
| ~  |       |        |    |     |

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

|  |       |
|--|-------|
| ① 倫理審査委員会の設置状況   | 有・無   |
| ② 倫理審査委員会の手順書の整備状況   | 有・無   |
| ・ 手順書の主な内容<br>①目的②審査資料②-1研究実施の審査②-2研究計画変更による研究継続の審査②-3重篤な有害事象報告及び研究継続の審査②-4研究の継続に影響を及ぼす事実や情報の報告及び研究継続の審査③研究計画の点検④審査④-1審査種別の決定④-2事前審査（研究実施の審査時のみ）④-3迅速審査④-4委員会の開催⑤研究実施中及び終了時の調査⑤-1研究経過報告⑤-2終了報告⑥秘密の保全⑦資料の保全⑧議事の公開、厚生労働大臣等への報告 |       |
| ③ 倫理審査委員会の開催状況   | 年 13回 |

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

|   |      |
|---|------|
| ① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況   | 有・無  |
| ② 利益相反の管理に関する規定の整備状況  | 有・無  |
| ・ 規定の主な内容<br>厚生労働科学研究における利益相反の管理に関する指針(H20.3.31科発第0331001号厚生科学課長)、文部科学省[21世紀型産学官連携手法の構築に係るモデルプログラム]印象研究利益相反ポリシー策定に関するガイドライン、その他これらに類する国が定める指針に準拠している。 |      |
| ③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況   | 年 4回 |

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

|  |      |
|--|------|
| ① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況  | 年 7回 |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容</li><li>・ 第1回～第6回 2015年度 富山大学研究倫理講習会（改正統合指針「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」および、新指針に基づく新たな申請書式について）</li><li>・ 研究倫理教育プログラム（CITI Japan プログラム）</li></ul> |      |

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

|                                 |
|---------------------------------|
| 別紙 1 「平成 27 年度 プログラム参加医師名簿」を参照。 |
|---------------------------------|

2 研修の実績

|        |      |
|--------|------|
| 研修医の人数 | 137人 |
|--------|------|

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

| 研修統括者氏名 | 診療科   | 役職等                    | 臨床経験年数 | 特記事項                  |
|---------|-------|------------------------|--------|-----------------------|
| 林 龍二    | 第一内科  | 呼吸器内科副科長               | 25年    | 呼吸器内科                 |
| 峯村 正実   | 第三内科  | 消化器内科副科長               | 30年    | 消化器内科                 |
| 平井 忠和   | 第二内科  | 循環器内科副科長               | 31年    | 循環器内科                 |
| 小池 勤    | 第二内科  | 第二内科病棟医長               | 20年    | 腎臓内科                  |
| 高嶋 修太郎  | 神経内科  | 神経内科副科長                | 36年    | 神経内科                  |
| 村上 純    | 第三内科  | 血液内科副科長                | 25年    | 血液内科                  |
| 薄井 勲    | 第一内科  | 代謝・内分泌内科副科長            | 25年    | 内分泌内科                 |
| 岩田 実    | 第一内科  | 保健管理センター<br>(杉谷支所) 准教授 | 24年    | 代謝内科                  |
| 山本 善裕   | 感染症科  | 感染予防医学教授               | 25年    | 感染症内科                 |
| 松井 祥子   | 第一内科  | 保健管理センター<br>長・教授       | 32年    | アレルギー疾患内科<br>又はアレルギー科 |
| 篠田 晃一郎  | 第一内科  | 免疫・膠原病内科<br>副科長        | 20年    | リウマチ科                 |
| 本間 崇浩   | 第一外科  | 呼吸器一般外科副<br>科長         | 12年    | 呼吸器外科                 |
| 奥村 知之   | 第二外科  | 消化器外科副科長               | 21年    | 消化器外科                 |
| 長田 拓哉   | 第二外科  | 乳腺内分泌外科長               | 25年    | 乳腺外科                  |
| 深原 一晃   | 第一外科  | 心臓血管外科副科<br>長          | 25年    | 心臓血管外科                |
| 長田 拓哉   | 第二外科  | 乳腺内分泌外科長               | 25年    | 内分泌外科                 |
| 廣川 慎一郎  | 第二外科  | 小児外科長                  | 34年    | 小児外科                  |
| 高橋 努    | 神経精神科 | 神経精神科副科長               | 20年    | 精神科                   |
| 川口 善治   | 整形外科  | 整形外科副科長                | 28年    | 整形外科                  |
| 永井 正一   | 脳神経外科 | 脳神経外科副科長               | 24年    | 脳神経外科                 |

|        |               |                     |     |         |
|--------|---------------|---------------------|-----|---------|
| 吉野 修   | 産科婦人科         | 産科婦人科副科長            | 19年 | 産婦人科    |
| 柳澤 秀一郎 | 眼科            | 眼科副科長               | 21年 | 眼科      |
| 石田 正幸  | 耳鼻咽喉科         | 耳鼻咽喉科病棟医<br>長       | 22年 | 耳鼻咽喉科   |
| 富澤 岳人  | 放射線科          | 放射線科医局長             | 21年 | 放射線科    |
| 廣田 弘毅  | 麻酔科           | 麻酔科副科長              | 31年 | 麻酔科     |
| 若杉 雅浩  | 災害・救命セン<br>ター | 危機管理医学・医<br>療安全学准教授 | 23年 | 救急科     |
| 富原 圭   | 歯科口腔外科        | 歯科口腔外科副科<br>長       | 15年 | 歯科口腔外科  |
| 牧野 輝彦  | 皮膚科           | 皮膚科副科長              | 20年 | 皮膚科     |
| 野村 恵子  | 小児科           | 小児総合内科副科<br>長       | 25年 | 小児総合内科  |
| 廣野 恵一  | 小児科           | 小児循環器内科副<br>科長      | 18年 | 小児循環器内科 |
| 田中 朋美  | 小児科           | 小児発達神経科副<br>科長      | 14年 | 小児発達神経科 |
| 藤内 靖喜  | 泌尿器科          | 泌尿器科副科長             | 25年 | 泌尿器科    |

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

がん診療に携わる医師・コメディカルの緩和ケアについて、基本的な知識を習得することの継続性を確保し、治療の初期段階からの緩和ケアの提供が継続して行われるように研修するために、ファシリテーター等の指導のもと、参加者が、模擬の医師や家族の役を担当し、緩和ケアフォローアップを疑似体験し、緩和ケアの対応を習得する。

・研修の期間・実施回数

平成28年1月30日（土）9：00～17：40・1回

・研修の参加人数

17名

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

地域医療にかかる研修会として、「地域医療構想における大学病院の役割」と題し、講義を受講することにより、これからの地域医療への大学病院の在り方、関り方等を認識する。

・研修の期間・実施回数

平成27年11月5日（木）18：00～19：00・1回

・研修の参加人数

195人

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容

・研修の期間・実施回数

・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

|         |  |
|---------|--|
| 計画・現状の別 | 1. 計画 <b>2. 現状</b>   |
| 管理責任者氏名 | 齋藤 滋   |
| 管理担当者氏名 | 医療情報部長 中川肇、薬剤部長 足立伊佐雄、医事課長 絹石達也、放射線部長 野口京、看護部長 米道智子、病院総務課長 福島健太郎 |

|                  |                    | 保管場所                                       | 管理方法                      |         |
|------------------|--------------------|--|---------------------------|---------|
| 診療に関する諸記録        | 規則第二十一条の三第二項に掲げる事項 | 病院日誌                                       | 病院総務課                     |         |
|                  |                    | 各科診療日誌                                     | 看護部                       |         |
|                  |                    | 処方せん                                       | 薬剤部                       |         |
|                  |                    | 手術記録                                       | 医事課                       |         |
|                  |                    | 看護記録                                       | 看護部                       |         |
|                  |                    | 検査所見記録                                     | 医療情報部                     |         |
|                  |                    | エックス線写真                                    | 放射線部                      |         |
|                  |                    | 紹介状<br>退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書     | 医事課                       |         |
| 病院の管理及び運営に関する諸記録 | 規則第二十一条の三第三項に掲げる事項 | 従業者数を明らかにする帳簿                              | 医薬系総務課人事・職員支援チーム          |         |
|                  |                    | 高度の医療の提供の実績                                | 医事課                       |         |
|                  |                    | 高度の医療技術の開発及び評価の実績                          | 病院総務課                     |         |
|                  |                    | 高度の医療の研修の実績                                | 病院総務課臨床研修チーム              |         |
|                  |                    | 閲覧実績                                       | 病院総務課                     |         |
|                  |                    | 紹介患者に対する医療提供の実績                            | 医事課                       |         |
|                  | 掲げる事項              | 規則第一条の十一第一項に掲げる事項                          | 入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿 | 医事課、薬剤部 |
|                  |                    |  | 医療に係る安全管理のための指針の整備状況      | 医事課医療安全 |
|                  |                    |  | 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況     | 医事課医療安全 |
|                  |                    |  | 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況    | 医事課医療安全 |
|                  |                    | 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 | 医事課医療安全                   |         |

|                  |                    | 保管場所  | 管理方法    |
|------------------|--------------------|---|---------|
| 病院の管理及び運営に関する諸記録 | 規則第一条の十一           | 院内感染対策のための指針の策定状況   | 医事課医療安全 |
|                  | 規則第一条の十一           | 院内感染対策のための委員会の開催状況  | 医事課医療安全 |
|                  | 規則第一条の十一           | 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況  | 医事課医療安全 |
|                  | 規則第二条第二項           | 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況                             | 医事課医療安全 |
|                  | 規則第一条から第三号までに掲げる事項 | 医薬品安全管理責任者の配置状況   | 医事課医療安全 |
|                  | 規則第一条から第三号までに掲げる事項 | 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況  | 医事課医療安全 |
|                  | 規則第一条から第三号までに掲げる事項 | 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況                              | 医事課医療安全 |
|                  | 規則第一条から第三号までに掲げる事項 | 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | 医事課医療安全 |
|                  | 規則第一条から第三号までに掲げる事項 | 医療機器安全管理責任者の配置状況  | 医事課医療安全 |
|                  | 規則第一条から第三号までに掲げる事項 | 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況   | 医事課医療安全 |
|                  | 規則第一条から第三号までに掲げる事項 | 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況   | 医事課医療安全 |
|                  | 規則第一条から第三号までに掲げる事項 | 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況                 | 医事課医療安全 |

|  |                               | 保管場所                                      | 管理方法    |
|--|-------------------------------|---|---------|
| 病院の管理及び運営に関する諸記録                                 | 規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項 | 医療安全管理責任者の配置状況                            | 医事課医療安全 |
|  |                               | 専任の院内感染対策を行う者の配置状況                        | 医事課医療安全 |
|  |                               | 医薬品安全管理責任者の業務実施状況                         | 医事課医療安全 |
|  |                               | 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況                 | 医事課医療安全 |
|  |                               | 診療録等の管理に関する責任者の選任状況                       | 医事課医療安全 |
|  |                               | 医療安全管理部門の設置状況                             | 医事課医療安全 |
|  |                               | 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況                | 医事課医療安全 |
|  |                               | 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況        | 医事課医療安全 |
|  |                               | 監査委員会の設置状況                                | 医事課医療安全 |
|  |                               | 入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況               | 医事課医療安全 |
|  |                               | 他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況        | 医事課医療安全 |
|  |                               | 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況        | 医事課医療安全 |
|  |                               | 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況 | 医事課医療安全 |
|  |                               | 職員研修の実施状況                                 | 医事課医療安全 |
| 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況 | 医事課医療安全                       |   |         |

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

|  |                     |       |
|--|---------------------|-------|
| 計画・現状の別  | 1. 計画               | ②. 現状 |
| 閲覧責任者氏名  | 病院事務部病院総務課長 福島 健太郎  |       |
| 閲覧担当者氏名  | 病院事務部病院総務課課長補佐 細谷 晃 |       |
| 閲覧の求めに応じる場所  | 病院事務部病院総務課          |       |
| 閲覧の手続の概要<br>原則として、提供先における利用目的、利用する業務の根拠法令、利用する記録範囲及び記録項目、利用形態等について書面を取り交わす。また、安全確保の措置を要求するとともに、必要があると認めるときは、提供前又は随時に実地の調査等を行い措置状況を確認し、その結果を記録するとともに、改善要求等を講ずる。 |                     |       |

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

|           |        |      |
|-----------|--------|------|
| 前年度の総閲覧件数 | 延      | 0件   |
| 閲覧者別      | 医師     | 延 0件 |
|           | 歯科医師   | 延 0件 |
|           | 国      | 延 0件 |
|           | 地方公共団体 | 延 0件 |

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

|   |     |
|---|-----|
| ① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況  | 有・無 |
| <p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 病院における安全管理に関する基本的考え方</li><li>2. 医療安全の組織と体制に関する基本的事項</li><li>3. 安全管理に係る研修に関する基本方針</li><li>4. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針</li><li>5. 医療従事者と患者等との間の情報の共有に関する基本方針</li><li>6. 患者等からの相談への対応に関する基本方針</li><li>7. その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li></ol>   |     |
| ② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況  |     |
| <p>・ 設置の有無 ( 有・無 )</p> <p>・ 開催状況：年 12 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 医療安全管理方針の策定及び推進に関すること。</li><li>2. インシデントの報告に関すること。</li><li>3. 医療安全管理の教育及び研修に関すること。</li><li>4. 医療安全管理対策の検討及び医療安全管理マニュアル作成に関すること。</li><li>5. 医療の質の向上への取り組みに関すること。</li><li>6. 重大なインシデントに係る調査及び対策に関すること。</li><li>7. 医療事故対応の意思決定・報告・公報に関すること。</li><li>8. 医療事故に係る当事者双方の対応に関すること。</li><li>9. その他医療安全に関すること。</li></ol> |     |
| ③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況  | 年6回 |
| <p>・ 研修の主な内容：</p> <p>全職員の他、新規採用・中途採用の職員（医師、看護師、コ・メディカル職員及び事務職員）及び外部委託業者を対象に医療安全のための研修を計画し、実施している。</p>   |     |
| ④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況  |     |
| <p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( 有・無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>高齢患者の食事介助中に誤嚥、窒息した事例について、次のように改善の方策をとった。</p> <p>&lt;部署レベル改善策&gt; 提出された業務改善計画書より抜粋</p> <p>①嚥下チームに機能評価を依頼し、適切な食事形態の選択と介助方法についてサポートしてもらう。②嚥下機能のスクリーニングから対応までフローチャートを作成し、週 1 回多職種カンファレンスで評価を行う。③夜勤の勤務者全員で 17 時から情報交換を行う。</p> <p>&lt;病院レベル改善策&gt;</p> <p>医療安全管理室医師 GRM1 名が院内の摂食嚥下サポートチームカンファレンスに継続的に参加する。昨年度報告誤嚥 4 事例について検討し、院内の嚥下リスク</p>                |     |

評価のためのマニュアルやスクリーニングシートの作成、および医療安全講習会での講演（医師、ST, 管理栄養士）を8月25日に開催した。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

|  |       |
|--|-------|
| ① 院内感染対策のための指針の策定状況  | 有・無   |
| <p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 病院における感染対策に関する基本的な考え方。</li><li>2. 感染対策の組織と体制に関する基本的事項。</li><li>3. 感染対策に係る研修に関する基本方針</li><li>4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li><li>5. 患者等に対する指針の閲覧に関する基本方針</li></ol>  |       |
| ② 院内感染対策のための委員会の開催状況   | 年12 回 |
| <p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 感染予防対策の確立に関すること。</li><li>2. 感染予防の実施、監視及び指導に関すること。</li><li>3. 感染予防の啓発及び教育に関すること。</li><li>4. 感染に係る事故等の疫学調査及び事後措置に関すること。</li><li>5. 感染予防対策の評価及び改善に関すること。</li><li>6. 感染予防対策に係る情報の収集に関すること。</li><li>7. その他感染予防に関すること。</li></ol>  |       |
| ③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況   | 年3回   |
| <p>・ 研修の主な内容：</p> <p>全職員の他、新規採用・中途採用の職員（医師、看護師、コ・メディカル及び事務職員）及び外部委託業者を対象に感染予防対策のための研修を計画し実施している。</p>   |       |
| ④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況  |       |
| <p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>・ 手指衛生遵守率の向上を目的に、各部署毎の手指消毒剤使用量を比較し、リンクナースと共に各部署で教育・啓発した。</p> <p>・ 作成した「感染管理ベストプラクティス」を、手指衛生や個人防護具着用のタイミングを遵守できるよう手順書として活用した。</p> <p>&lt;作成済み手順書&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 薬液混合・CV ドレッシング交換・末梢カテーテル留置・採血・尿廃棄</li><li>・ 口腔ケア・オムツ交換</li></ul> <p>・ インフルエンザ発生時の対応を見直し、マニュアルの改訂を行った。</p> <p>・ 血液・体液曝露事故の眼粘膜への飛散による曝露防止対策として、フェイスシールドマスクやゴーグルの着用を推進した。</p> |       |

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

|  |  |
|--|--|
| ① 医薬品安全管理責任者の配置状況  | <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 |
| ② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況   | 年 2回   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：</li><li>・ 医薬品の有効性・安全性に関する情報，使用方法に関する事項</li><li>・ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書に関する事項</li><li>・ 医薬品による副作用等が発生した場合の対応（病院内での報告，行政機関への報告等）に関する事項</li></ul>  |  |
| ③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況   | <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 手順書の作成</li><li>・ 業務の主な内容：</li><li>・ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書を，医療安全管理委員会の議を経て作成。</li><li>・ 実施状況を部署責任者の協力を得て定期的に「医薬品業務確認リスト」に基づき確認。</li><li>・ 確認結果を，医療安全管理委員会の議を経て，病院長に報告。</li></ul>  |  |
| ④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況  | <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備</li><li>・ その他の改善のための方策の主な内容：</li><li>・ 薬剤部医薬品情報室の機能を駆使して，医薬品の添付文書の情報のほか，医薬品製造販売業者，行政機関及び学術誌等からの情報を広く収集・管理する。</li><li>・ 得られた情報のうち必要なものを当該情報に係る医薬品を取り扱う病院従業者に，迅速かつ確実に周知徹底を行った後、全職員に対し情報の周知を行い、確認報告書を記載・提出させる。</li></ul> |  |

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

|   |                                      |
|---|--------------------------------------|
| ① 医療機器安全管理責任者の配置状況  | <input checked="" type="radio"/> 有・無 |
| ② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況   | 年 50 回                               |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：</li><li>・ 有効性・安全性に関すること</li><li>・ 使用方法に関すること</li><li>・ 保守点検に関すること</li><li>・ 不具合発生への対応に関すること</li></ul>  |                                      |
| ③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況   |                                      |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療機器に係る計画の策定 ( <input checked="" type="radio"/> 有・無 )</li><li>・ 保守点検の主な内容：</li><li>・ 日常点検</li><li>・ 使用後点検</li><li>・ 定期点検</li></ul>                                  |                                      |
| ④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集<br>その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況  |                                      |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ( <input checked="" type="radio"/> 有・無 )</li><li>・ その他の改善のための方策の主な内容：</li><li>・ PMDA, メーカーや業者からの情報提供</li><li>・ 関連学会、研究会等への出席や電子メールによる情報提供</li></ul> |                                      |

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

|   |         |
|---|---------|
| ① 医療安全管理責任者の配置状況  | 有・無     |
| <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>・平成28年7月20日に医療安全管理指針を改正し、医療安全管理責任者を配置した。医療安全管理責任者は、医療安全管理室、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括することを定めた。</p>   |         |
| ② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況  | 有(4名)・無 |
| <p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品安全管理責任者から指名された薬剤師等 2 名が、院内の医薬品の使用状況を月一回程度定期的に確認し、その結果を踏まえ、添付文書情報（禁忌等）、緊急安全性情報、未承認医薬品の使用時又は医薬品の適応外使用等の医薬品安全管理に係る情報を整理し、医薬品安全管理責任者に報告している。医薬品安全管理責任者はその結果について院内全体に周知するとともに、必要な診療科等に周知されているかについて確認することを薬剤師に行わせている。周知状況の確認方法は、各診療科等から提出される全職員が署名した「確認報告書」にて行っている。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>医薬品安全管理責任者から指名された薬剤師が、医師の処方した薬剤の使用が未承認医薬品の使用若しくは適応外又は禁忌等の使用に該当するか否かを把握し、これに該当する場合は、処方した医師に対して処方の必要性や論文等の根拠に基づくリスク検討の有無、処方の妥当性を確認する。その結果を踏まえ、処方した医師等に対し処方の変更等の提案を行い、その結果について医薬品安全管理責任者に報告書を提出する体制を整備する予定である。</p> <p>・担当者の指名の有無 有・無</p> |         |
| ④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況   | 有・無     |
| <p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有・無)</p>  |         |

|  |       |
|--|-------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 規程の主な内容：</li> <li>・ 責任者の配置</li> <li>・ 担当者の配置</li> <li>・ 実施方法及び実施状況の確認方法等</li> </ul>   |       |
| ⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況  | (有)・無 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容：</li> <li>・ 責任者は担当者に診療録の記載について調査させ、調査結果を報告させる。</li> <li>・ 責任者は調査結果を確認し当該診療科等の長に通知するとともに、診療録等が十分でない診療科について指導を行い、病院長及び医療安全管理責任者に報告する。</li> <li>・ 責任者は、記載が十分でない診療録等についての指導内容を全診療科等の長に通知する。</li> </ul>  |       |
| ⑥ 医療安全管理部門の設置状況  | (有)・無 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員：専従（4）名、専任（0）名、兼任（15）名</li> <li style="padding-left: 20px;">うち医師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（11）名</li> <li style="padding-left: 20px;">うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（1）名</li> <li style="padding-left: 20px;">うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（3）名</li> <li>・ 活動の主な内容：</li> <li>・ 医療事故防止対策の周知徹底に関すること。</li> <li>・ 医療安全管理に係る業務改善の提言・指導に関すること。</li> <li>・ 医療安全管理に係る教育・研究・啓発に関すること。</li> <li>・ 医療安全管理マニュアル遵守の確認と成果の検証に関すること。</li> <li>・ 医療安全管理委員会への情報提供及び改善策の提案に関すること。</li> <li>・ インフォームド・コンセントの適正運用に関すること。</li> <li>・ 適切な診療録のあり方の検討及び情報公開への対応に関すること。</li> </ul> <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。</p> |       |
| ⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況   |       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・(無)）</li> <li>・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・(無)）</li> </ul>   |       |

・ 規程の主な内容 :

・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 ( 有・無 )

・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 ( 有・無 )

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 ( 有・無 )

・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 ( 有・無 )

・ 規程の主な内容 :

・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 ( 有・無 )

・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 ( 有・無 )

⑨ 監査委員会の設置状況

有・無

・ 監査委員会の開催状況 : 年 回

・ 活動の主な内容 :

・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ( 有・無 )

・ 委員名簿の公表の有無 ( 有・無 )

・ 委員の選定理由の公表の有無 ( 有・無 )

・ 公表の方法 :

| 監査委員会の委員名簿及び選定理由（注） |    |               |      |      |               |
|---------------------|----|---------------|------|------|---------------|
| 氏名                  | 所属 | 委員長<br>（○を付す） | 選定理由 | 利害関係 | 委員の要件<br>該当状況 |
|                     |    |               |      | 有・無  |               |

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

|   |
|---|
| <p>⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況</p>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 4 件</li> <li>・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 28 件</li> <li>・医療安全管理委員会の活動の主な内容</li> <li>・重大なインシデントに係る調査及び対策に関すること。</li> <li>・医療事故対応の意思決定・報告・公報に関すること。</li> </ul>  |
| <p>⑪ 他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況</p>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の特定機能病院への立入り（ 有（病院名： ） ・無）</li> <li>・他の特定機能病院からの立入り受入れ（ 有（病院名： ） ・無）</li> <li>・技術的助言の実施状況</li> </ul>   |
| <p>⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・体制の確保状況</li> </ul> <p>医療福祉センターを設置している。</p>  |
| <p>⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況</p>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ）</li> <li>・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無（ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ）</li> <li>・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ）</li> </ul> |
| <p>⑭ 職員研修の実施状況</p>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の実施状況</li> </ul> <p>医療法施行規則第1条の11第1項第3号並びに第9条の23第1項第14号に規定する研修については、平成29年3月までに必要な事項を従来の研修に追加して計画する予定である。なお、平成28年度中に設置する予定の監査委員会からの意見表明に関する事項については、平成29年度から</p>  |

実施する予定である。

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

国立大学附属病院長会議が実施する研修（今後検討予定）に来年度から参加させる予定である。

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

|   |     |
|---|-----|
| ① 病院の機能に関する第三者による評価の有無                                  | 有・無 |
| ・評価を行った機関名、評価を受けた時期<br>日本医療機能評価機構、病院機能評価（2013/11/27～28） |     |

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

|  |     |
|--|-----|
| ① 果たしている役割に関する情報発信の有無  | 有・無 |
| ・情報発信の方法、内容等の概要<br>院内情報誌である「かわら版」を定期的に発行し、患者さんのみならず、関連する地域の関連病院等へ配布し、本院で実施している先進的な医療等の情報を常に発信している。 |     |

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

|  |     |
|--|-----|
| ① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無   | 有・無 |
| ・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要<br>がん診療における緩和ケアチームや食事や栄養管理を通じて疾病の治療や予防に寄与する栄養サポートチームなどの体制を整備し、関係診療科等や薬剤部、並びに、看護部等との連携を図り、係る診療に対応できる体制を取っている。 |     |

## 平成27年度プログラム参加医師名簿

| 参加年度 | 診療科名         | コース名 | 医師名           | 性別                | 卒後年数 | 医師免許取得年 | H27年度研修先 |                    |
|------|--------------|------|---------------|-------------------|------|---------|----------|--------------------|
| 1    | 2010         | 第一内科 | 糖尿病トータルケア     | 朴木 久恵             | 女    | 15年     | H13      | 富山大学附属病院           |
| 2    | 2011         | 第一内科 | 糖尿病トータルケア     | 岡部 圭介             | 男    | 8年      | H20      | 富山大学附属病院           |
| 3    | 2012         | 第一内科 | 糖尿病トータルケア     | 角 朝信              | 男    | 6年      | H22      | 富山大学附属病院           |
| 4    | 2008         | 第一内科 | 糖尿病基礎研究大学院    | 瀧川 章子             | 女    | 11年     | H17      | 富山大学附属病院           |
| 5    | 2008         | 第一内科 | 膠原病リウマチトータルケア | 津田 玲奈<br>(旧姓:小川)  | 女    | 10年     | H18      | 富山大学附属病院           |
| 6    | 2012         | 第一内科 | 膠原病リウマチトータルケア | 小尾 麻衣子<br>(旧姓 奥村) | 女    | 6年      | H22      | 富山大学附属病院           |
| 7    | 2012         | 第一内科 | 膠原病リウマチトータルケア | 山口 智史             | 男    | 6年      | H22      | 富山大学附属病院           |
| 8    | 2008<br>2010 | 第一内科 | 呼吸器専門医、大学院    | 猪又 峰彦             | 男    | 14年     | H14      | 富山大学附属病院           |
| 9    | 2010         | 第一内科 | 呼吸器専門医、大学院    | 岡澤 成祐             | 男    | 12年     | H16      | 富山大学附属病院           |
| 10   | 2008<br>2010 | 第一内科 | 呼吸器専門医、基本     | 山田 徹              | 男    | 19年     | H9       | 富山大学附属病院           |
| 11   | 2009         | 第一内科 | 呼吸器専門医、基本     | 神原 健太             | 男    | 13年     | H15      | 富山大学附属病院           |
| 12   | 2008         | 第一内科 | 呼吸器専門医、基本     | 高 千紘<br>(旧姓:松島)   | 女    | 11年     | H17      | 富山大学附属病院           |
| 13   | 2008         | 第一内科 | 呼吸器専門医、基本     | 徳井 宏太郎            | 男    | 10年     | H18      | 富山大学附属病院           |
| 14   | 2013         | 第一内科 | 膠原病リウマチトータルケア | 松井 篤              | 男    | 5年      | H23      | 富山大学附属病院           |
| 15   | 2014         | 第一内科 | 糖尿病トータルケア     | 中嶋 歩              | 女    | 4年      | H24      | JCHO 東京山手メディカルセンター |
| 16   | 2012         | 第一内科 | 呼吸器専門医、大学院    | 下川 一生             | 男    | 8年      | H20      | 富山大学附属病院           |
| 17   | 2009         | 第二内科 | 循環器総合研修コース    | 牛島 龍一             | 男    | 10年     | H18      | 富山大学附属病院           |
| 18   | 2010         | 第二内科 | 循環器総合研修コース    | 稲尾 杏子<br>(金沢医科大卒) | 女    | 9年      | H19      | 富山大学附属病院           |
| 19   | 2010         | 第二内科 | 循環器総合研修コース    | 赤羽 崇              | 男    | 8年      | H20      | 富山大学附属病院           |
| 20   | 2010         | 第二内科 | 循環器総合研修コース    | 福井 康貴             | 男    | 8年      | H20      | 富山大学附属病院           |
| 21   | 2012         | 第二内科 | 循環器総合研修コース    | 桑原 弘幸             | 男    | 6年      | H22      | 富山大学附属病院           |
| 22   | 2013         | 第二内科 | 循環器総合研修コース    | 辻野 泰              | 男    | 5年      | H23      | 富山大学附属病院           |
| 23   | 2012         | 第二内科 | 腎・高血圧専門医育成コース | 藤岡 勇人             | 男    | 6年      | H22      | 富山大学附属病院           |
| 24   | 2012         | 第二内科 | 虚血・心不全研修コース   | 田中 修平             | 男    | 6年      | H22      | 富山大学附属病院           |
| 25   | 2010         | 第二内科 | 循環器総合研修コース    | 片岡 直也             | 男    | 9年      | H19      | 富山大学附属病院           |
| 26   | 2010         | 第三内科 | 消化器総合研究コース    | 安藤 孝将             | 男    | 15年     | H13      | 富山大学附属病院           |
| 27   | 2010         | 第三内科 | 消化器総合研究コース    | 三原 弘              | 男    | 14年     | H14      | 富山大学附属病院           |
| 28   | 2009         | 第三内科 | 消化器総合研究コース    | 南條 宗八             | 男    | 11年     | H17      | 富山大学附属病院           |

| 参加年度 | 診療科名 | コース名 | 医師名            | 性別               | 卒後年数 | 医師免許取得年 | H27年度研修先 |  |
|------|------|------|----------------|------------------|------|---------|----------|--|
| 29   | 2011 | 第三内科 | 消化器総合研究コース     | 高取 俊介            | 男    | 7年      | H21      | 富山大学附属病院                                     |
| 30   | 2009 | 第三内科 | 腫瘍内科医養成コース     | 中田 直克            | 男    | 10年     | H18      | 富山大学附属病院                                     |
| 31   | 2009 | 第三内科 | 腫瘍内科医養成コース     | 吉田 啓紀            | 男    | 10年     | H18      | 富山大学附属病院                                     |
| 32   | 2011 | 第三内科 | 腫瘍内科医養成コース     | 梶浦 新也            | 男    | 17年     | H11      | 富山大学附属病院                                     |
| 33   | 2010 | 第三内科 | 血液総合研究コース      | 和田 暁法            | 男    | 13年     | H15      | 富山大学附属病院                                     |
| 34   | 2009 | 第三内科 | 血液総合研究コース      | 在田 幸太郎           | 男    | 9年      | H19      | 富山大学附属病院                                     |
| 35   | 2009 | 第三内科 | 消化器内視鏡専門医養成コース | 西水 俊准            | 男    | 9年      | H19      | 富山大学附属病院                                     |
| 36   | 2014 | 第三内科 | 消化器内視鏡専門医養成コース | 高嶋祐介             | 男    | 4年      | H24      | 富山大学附属病院                                     |
| 37   | 2014 | 第三内科 | 消化器総合研究コース     | 西野 貴晶            | 男    | 4年      | H24      | 富山大学附属病院                                     |
| 38   | 2014 | 第三内科 | 消化器内視鏡専門医養成コース | 小林 才人            | 男    | 4年      | H24      | 富山大学附属病院                                     |
| 39   | 2014 | 第三内科 | 消化器内視鏡専門医養成コース | 北林 誠             | 男    | 4年      | H24      | 富山大学附属病院                                     |
| 40   | 2015 | 第三内科 | 消化器総合研究コース     | 長田 巧平            | 男    | 3年      | H25      | 富山大学附属病院                                     |
| 41   | 2015 | 第三内科 | 消化器内視鏡専門医養成コース | 島田 清太郎           | 男    | 3年      | H25      | 富山大学附属病院                                     |
| 42   | 2015 | 第三内科 | 消化器内視鏡専門医養成コース | 二日市 有花           | 女    | 3年      | H25      | 富山大学附属病院                                     |
| 43   | 2015 | 第三内科 | 消化器内視鏡専門医養成コース | 作村 美穂            | 女    | 3年      | H25      | 富山大学附属病院                                     |
| 44   | 2008 | 皮膚科  | 皮膚科専門医皮膚外科コース  | 原 寛              | 男    | 12年     | H16      | 富山大学附属病院                                     |
| 45   | 2013 | 皮膚科  | 皮膚科専門医皮膚外科コース  | 関 友里             | 女    | 5年      | H23      | 富山大学附属病院                                     |
| 46   | 2013 | 皮膚科  | 皮膚科専門医皮膚外科コース  | 森 直哉             | 男    | 5年      | H23      | 富山大学附属病院                                     |
| 47   | 2014 | 皮膚科  | 皮膚科専門医皮膚外科コース  | 鹿見山 浩            | 男    | 6年      | H22      | 富山大学附属病(4月-12月)<br>院新潟県立がんセンター新潟病<br>院(1-3月) |
| 48   | 2014 | 皮膚科  | 皮膚科専門医皮膚外科コース  | 林 政雄             | 男    | 4年      | H24      | 富山大学附属病院                                     |
| 49   | 2010 | 小児科  | 小児総合内科医養成コース   | 仲岡 英幸            | 男    | 8年      | H20      | 富山大学附属病院                                     |
| 50   | 2012 | 小児科  | 小児総合内科医養成コース   | 坂田 奈緒<br>(旧姓:沼山) | 女    | 6年      | H22      | 富山市民病院                                       |
| 51   | 2014 | 小児科  | 小児総合内科医養成コース   | 牛尾 悠<br>(旧姓:有沢)  | 女    | 4年      | H24      | 富山赤十字病院                                      |
| 52   | 2014 | 小児科  | 小児総合内科医養成コース   | 齊藤 悠             | 男    | 4年      | H24      | 黒部市民病院                                       |
| 53   | 2014 | 小児科  | 小児総合内科医養成コース   | 寺下 新太郎           | 男    | 4年      | H24      | 富山県立中央病院                                     |
| 54   | 2014 | 小児科  | 小児総合内科医養成コース   | 長岡 貢秀            | 男    | 4年      | H24      | 糸魚川総合病院                                      |
| 55   | 2014 | 小児科  | 小児総合内科医養成コース   | 森 こずえ            | 女    | 4年      | H24      | 黒部市民病院                                       |
| 56   | 2015 | 小児科  | 小児総合内科医養成コース   | 岡部 真子            | 女    | 5年      | H23      | 厚生連高岡病院                                      |
| 57   | 2015 | 小児科  | 小児総合内科医養成コース   | 荒井 美穂            | 女    | 3年      | H25      | 富山大学附属病院                                     |

| 参加年度 | 診療科名 | コース名  | 医師名                        | 性別                | 卒後年数 | 医師免許取得年 | H27年度研修先 |  |
|------|------|-------|----------------------------|-------------------|------|---------|----------|--|
| 58   | 2015 | 小児科   | 小児総合内科医養成コース               | 清水 宗之             | 男    | 3年      | H25      | 富山大学附属病院   |
| 59   | 2015 | 小児科   | 小児総合内科医養成コース               | 寶田 真也             | 男    | 3年      | H25      | 富山大学附属病院   |
| 60   | 2015 | 小児科   | 小児総合内科医養成コース               | 村上 将啓             | 男    | 3年      | H25      | 富山大学附属病院   |
| 61   | 2008 | 神経精神科 | 海外留学研究コース                  | 木戸 幹雄             | 男    | 10年     | H18      | 富山大学附属病院   |
| 62   | 2011 | 神経精神科 | 学位取得研究コース                  | 西川 祐美子            | 女    | 7年      | H21      | 富山大学附属病院   |
| 63   | 2011 | 神経精神科 | 精神保険指定医・精神科専門医を取得する最短3年コース | 山口 幸志             | 男    | 8年      | H20      | 富山大学附属病院   |
| 64   | 2012 | 神経精神科 | 精神保険指定医・精神科専門医を取得する最短3年コース | 藤岡 珠美             | 女    | 6年      | H22      | 厚生連滑川病院(4月～9月)<br>富山大学附属病院(10月～3月)                     |
| 65   | 2013 | 神経精神科 | 学位取得研究コース                  | 中村 美保子<br>(新潟大学卒) | 女    | 5年      | H23      | 富山大学附属病院   |
| 66   | 2012 | 神経精神科 | 精神保険指定医・精神科専門医を取得する最短3年コース | 嶋 有希子<br>(山口大学卒)  | 女    | 6年      | H22      | 富山大学附属病院   |
| 67   | 2013 | 神経精神科 | 学位取得研究コース                  | 笹林 大樹<br>(信州大学卒)  | 男    | 5年      | H23      | 富山大学附属病院   |
| 68   | 2014 | 神経精神科 | 精神保険指定医・精神科専門医を取得する最短3年コース | 大口善睦              | 男    | 4年      | H24      | 富山大学附属病院(4月～9月)<br>谷野呉山病院(10月～3月)                      |
| 69   | 2011 | 放射線科  | 放射線治療研究者養成コース              | 山岸 健太郎            | 男    | 10年     | H18      | 富山大学附属病院   |
| 70   | 2011 | 放射線科  | 放射線診断・IVR研究者養成コース          | 鳴戸 規人             | 男    | 7年      | H21      | 富山大学附属病院   |
| 71   | 2011 | 第一外科  | 呼吸器外科専門医養成コース              | 嶋田 喜文             | 男    | 5年      | H23      | 富山大学附属病院(4月～9月)<br>小諸厚生総合病院(10月～3月)                    |
| 72   | 2008 | 第二外科  | 消化器外科専門医養成コース              | 関根 慎一             | 男    | 13年     | H15      | 富山大学附属病院   |
| 73   | 2008 | 第二外科  | 消化器外科専門医養成コース              | 森山 亮仁             | 男    | 12年     | H16      | 富山大学附属病院   |
| 74   | 2008 | 第二外科  | 消化器外科専門医養成コース              | 山口 哲司             | 男    | 12年     | H16      | 済生会高岡病院(4月～6月)<br>富山大学附属病院(7月～3月)                      |
| 75   | 2009 | 第二外科  | 消化器外科専門医養成コース              | 小島 博文             | 男    | 12年     | H16      | 富山大学附属病院   |
| 76   | 2010 | 第二外科  | 消化器外科専門医養成・大学院コース          | 平野 勝久             | 男    | 8年      | H20      | 富山大学附属病院   |
| 77   | 2010 | 第二外科  | 消化器外科専門医養成・大学院コース          | 渡辺 徹              | 男    | 8年      | H20      | 富山大学附属病院   |
| 78   | 2012 | 第二外科  | 消化器外科専門医養成・大学院コース          | 三輪 武史             | 男    | 8年      | H20      | 済生会富山病院(4月～9月)<br>富山大学附属病院(10月～3月)                     |
| 79   | 2012 | 第二外科  | 消化器外科後期研修中                 | 祐川 健太             | 男    | 6年      | H22      | 富山大学附属病院(4月～9月)<br>済生会富山病院(10月～3月)                     |
| 80   | 2012 | 第二外科  | 消化器外科後期研修中                 | 出村 しおり            | 女    | 6年      | H22      | けいなん総合病院(4月～9月)<br>富山大学附属病院(10月～12月)<br>済生会高岡病院(1月～3月) |
| 81   | 2012 | 第二外科  | 消化器外科後期研修中                 | 真鍋 高宏             | 男    | 6年      | H22      | 済生会富山病院(4月～9月)<br>済生会高岡病院(10月～12月)<br>富山大学附属病院(1月～3月)  |
| 82   | 2014 | 第二外科  | 消化器外科専門医養成・大学院コース          | 福田卓真              | 男    | 4年      | H24      | 富山大学附属病院(4月～9月)<br>けいなん総合病院(10月～3月)                    |
| 83   | 2013 | 脳神経外科 | 脳神経外科専門医養成コース              | 高 正圭              | 男    | 8年      | H20      | 富山大学附属病院   |
| 84   | 2015 | 脳神経外科 | 脳神経外科専門医養成コース              | 山本 修輔             | 男    | 3年      | H25      | 富山大学附属病院   |
| 85   | 2015 | 脳神経外科 | 脳神経外科専門医養成コース              | 白石 啓太郎            | 男    | 3年      | H25      | 富山大学附属病院   |
| 86   | 2015 | 脳神経外科 | 脳神経外科専門医養成コース              | 加茂 徹大             | 男    | 3年      | H25      | 富山大学附属病院   |

| 参加年度 | 診療科名 | コース名  | 医師名                    | 性別               | 卒後年数 | 医師免許取得年 | H27年度研修先 |                                    |
|------|------|-------|------------------------|------------------|------|---------|----------|------------------------------------|
| 87   | 2008 | 整形外科  | 関節外科疾患のマネジメントを修得するコース  | 野上 真紀子           | 女    | 14年     | H14      | 富山大学附属病院                           |
| 88   | 2008 | 整形外科  | 脊椎・腫瘍疾患のマネジメントを修得するコース | 鈴木 賀代            | 女    | 13年     | H15      | 富山大学附属病院                           |
| 89   | 2014 | 整形外科  | 脊椎・関節疾患のマネジメントを修得するコース | 箭原 康人            | 男    | 11年     | H17      | 富山大学附属病院                           |
| 90   | 2012 | 整形外科  | 脊椎・腫瘍疾患のマネジメントを修得するコース | 渡邊 健太            | 男    | 9年      | H19      | 富山大学附属病院                           |
| 91   | 2012 | 整形外科  | 脊椎・関節疾患のマネジメントを修得するコース | 牧野 紘士            | 男    | 7年      | H21      | 富山大学附属病院                           |
| 92   | 2014 | 整形外科  | 整形外科専門医研修コース           | 田村 嵩             | 男    | 3年      | H25      | 富山大学附属病院                           |
| 93   | 2014 | 整形外科  | 整形外科専門医研修コース           | 亀井 克彦            | 男    | 3年      | H25      | 富山大学附属病院                           |
| 94   | 2014 | 整形外科  | 整形外科専門医研修コース           | 廣川 達郎            | 男    | 3年      | H25      | 富山大学附属病院                           |
| 95   | 2014 | 産科婦人科 | 産科婦人科周産期コース2           | 小林 睦             | 男    | 5年      | H23      | 厚生連高岡病院                            |
| 96   | 2014 | 産科婦人科 | 産科婦人科周産期コース2           | 安田 一平            | 男    | 5年      | H23      | 黒部市民病院                             |
| 97   | 2015 | 産科婦人科 | 産科婦人科周産期コース2           | 生水貫人             | 男    | 4年      | H24      | 富山大学附属病院                           |
| 98   | 2015 | 産科婦人科 | 産科婦人科周産期コース2           | 才津義亮             | 男    | 4年      | H24      | 富山大学附属病院                           |
| 99   | 2016 | 産科婦人科 | 産科婦人科周産期コース2           | 新居 絵理            | 女    | 3年      | H25      | 富山大学附属病院                           |
| 100  | 2016 | 産科婦人科 | 産科婦人科周産期コース2           | 大北 恭子            | 女    | 3年      | H25      | 富山大学附属病院                           |
| 101  | 2016 | 産科婦人科 | 産科婦人科周産期コース2           | 川口 美保子           | 女    | 3年      | H25      | 富山大学附属病院                           |
| 102  | 2016 | 産科婦人科 | 産科婦人科周産期コース2           | 太知 さやか           | 女    | 3年      | H25      | 富山大学附属病院                           |
| 103  | 2008 | 眼科    | 眼科全般コース                | 武田 祥子<br>(旧姓:山出) | 女    | 11年     | H17      | 富山大学附属病院                           |
| 104  | 2008 | 眼科    | 眼科全般コース                | 宮腰 晃央            | 男    | 9年      | H19      | 富山大学附属病院                           |
| 105  | 2010 | 眼科    | 眼科全般コース                | 藤田 和也            | 男    | 8年      | H20      | 富山大学附属病院                           |
| 106  | 2010 | 眼科    | 眼科全般コース                | 中村 友子            | 女    | 8年      | H20      | 富山大学附属病院                           |
| 107  | 2011 | 眼科    | 眼科全般コース                | 矢合隆昭             | 男    | 7       | H21      | 富山大学附属病院                           |
| 108  | 2015 | 眼科    | 眼科全般コース                | 石田聖朗             | 男    | 3年      | H25      | 富山大学附属病院(4月~10月)<br>高岡市民病院(10月~3月) |
| 109  | 2010 | 耳鼻咽喉科 | めまい専門医養成コース            | 舘野 宏彦            | 男    | 8年      | H20      | 富山大学附属病院                           |
| 110  | 2012 | 耳鼻咽喉科 | めまい専門医養成コース            | 中西 亮人            | 男    | 6年      | H22      | 富山大学附属病院                           |
| 111  | 2010 | 耳鼻咽喉科 | 頭頸部腫瘍専門医養成コース          | 阿部 秀晴            | 男    | 10年     | H18      | 富山大学附属病院                           |
| 112  | 2013 | 耳鼻咽喉科 | 頭頸部腫瘍専門医養成コース          | 中里 瑛             | 男    | 5年      | H23      | 富山大学附属病院                           |
| 113  | 2014 | 耳鼻咽喉科 | めまい専門医養成コース            | 伊東 伸祐            | 男    | 4年      | H24      | 富山大学附属病院                           |
| 114  | 2011 | 麻酔科   | 麻酔科専門医・スペシャリストコース      | 服部 瑞樹            | 男    | 7年      | H21      | 富山大学附属病院                           |
| 115  | 2012 | 麻酔科   | 麻酔科専門医・スペシャリストコース      | 川上 正晃            | 男    | 6年      | H22      | 富山大学附属病院                           |

| 参加年度 | 診療科名 | コース名  | 医師名                                   | 性別               | 卒後年数 | 医師免許取得年 | H27年度研修先 |                                      |
|------|------|-------|---------------------------------------|------------------|------|---------|----------|--------------------------------------|
| 116  | 2008 | 麻酔科   | 麻酔科専門医・地域密着コース                        | 南條 和美<br>(旧姓:矢後) | 女    | 11年     | H17      | 富山大学附属病院                             |
| 117  | 2009 | 麻酔科   | 麻酔科専門医・地域密着コース                        | 青木 絵梨子           | 女    | 9年      | H19      | 富山大学附属病院                             |
| 118  | 2013 | 麻酔科   | 麻酔科専門医・スペシャリストコース                     | 久保田 亮平           | 男    | 5年      | H23      | 富山県立中央病院(4月～6月)<br>富山大学附属病院(7月～3月)   |
| 119  | 2014 | 麻酔科   | 麻酔科専門医大学院コース                          | 亀山 暁世            | 女    | 4年      | H24      | 富山大学附属病院(4月～6月)<br>富山赤十字病院(7月～3月)    |
| 120  | 2014 | 麻酔科   | 麻酔科専門医・スペシャリストコース                     | 小林 慶             | 女    | 4年      | H24      | 富山大学附属病院                             |
| 121  | 2015 | 麻酔科   | 麻酔科専門医・スペシャリストコース                     | 松尾 光浩            | 男    | 4年      | H24      | 富山大学附属病院                             |
| 122  | 2015 | 麻酔科   | 麻酔科専門医・スペシャリストコース                     | 日比 大亮            | 男    | 3年      | H25      | 富山大学附属病院                             |
| 123  | 2015 | 麻酔科   | 麻酔科専門医・スペシャリストコース                     | 篠田 正浩            | 男    | 3年      | H25      | 富山大学附属病院                             |
| 124  | 2015 | 麻酔科   | 麻酔科専門医・スペシャリストコース                     | 津田 翔             | 男    | 3年      | H25      | 富山大学附属病院(4月～9月)<br>黒部市民病院(10月～3月)    |
| 125  | 2008 | 和漢診療科 | 漢方内科専門研修<br>(地域医療)および漢方<br>医学研究医育成コース | 海老澤 茂            | 男    | 11年     | H17      | 富山大学附属病院                             |
| 126  | 2009 | 和漢診療科 | 漢方内科専門研修<br>(地域医療)および漢方<br>医学研究医育成コース | 北原 英幸            | 男    | 9年      | H19      | 富山大学附属病院                             |
| 127  | 2009 | 和漢診療科 | 漢方内科専門研修<br>(地域医療)および漢方<br>医学研究医育成コース | 三澤 広貴            | 男    | 9年      | H19      | 富山大学附属病院                             |
| 128  | 2015 | 和漢診療科 | 漢方専門臨床研究医<br>育成コース                    | 金原 嘉之            | 男    | 11年     | H17      | 富山大学附属病院                             |
| 129  | 2009 | 神経内科  | 関連病院連携コース                             | 小西 宏史            | 男    | 9年      | H19      | 富山大学附属病院                             |
| 130  | 2010 | 神経内科  | 関連病院連携コース                             | 吉田 幸司            | 男    | 8年      | H20      | 富山大学附属病院                             |
| 131  | 2012 | 神経内科  | 関連病院連携コース                             | 林 智宏             | 男    | 6年      | H22      | 富山大学附属病院                             |
| 132  | 2012 | 神経内科  | 関連病院連携コース                             | 山本 真守            | 男    | 6年      | H22      | 富山大学附属病院                             |
| 133  | 2014 | 感染症科  | 感染症専門医・研究医養成<br>コース                   | 河合 暦美            | 女性   | 4年      | H24      | 富山大学附属病院                             |
| 134  | 2015 | 感染症科  | 感染症専門医・研究医養成<br>コース                   | 東 祥嗣             | 男性   | 4年      | H24      | 富山大学附属病院                             |
| 135  | 2009 | 病理部   | 病理専門医育成コース<br>(診断病理医トータルコース)          | 濱島 丈             | 男    | 11年     | H17      | 富山大学附属病院                             |
| 136  | 2014 | 総合診療部 | 総合診療専門医コース                            | 関島 梓             | 女    | 9年      | H19      | 東京女子医科大学病院(4月～5月)<br>富山大学附属病院(6月～3月) |
| 137  | 2014 | 総合診療部 | 総合診療専門医コース                            | 滝林 正浩<br>(旧姓:長妻) | 男    | 6年      | H22      | 市立大町総合病院(4月～6月)<br>富山大学附属病院(7月～3月)   |

(様式第 8)

富大病総第 171 号  
平成 28 年 9 月 7 日

厚生労働大臣

殿

国立大学法人富山大学長  
開設者名 遠藤俊郎 (印)

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 医療安全管理責任者を配置するための予定措置

医療安全管理指針を一部改正し、平成 28 年 7 月 20 日付けで、新たに医療安全管理責任者を配置し、副病院長をもって充てた。

指針には、医療安全管理責任者の業務として、医療安全管理室、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括することについて明記した。

2. 医薬品安全管理責任者の活動を充実するための予定措置

医薬品の安全使用のための業務に資する医薬品に関する情報の整理、周知及び当該周知の状況の確認について、体制等を見直し、「医薬品の安全使用のための業務手順書」を平成 28 年 9 月末までに改正して、対応できる体制を整備する予定である。

3. 医療を受ける者に対する説明に関する責任者を配置するための予定措置

説明に関する管理者の配置及びインフォームド・コンセントの実施状況の定期的な確認等について定めた要項を平成 28 年 9 月 21 日に制定し、責任者を配置する予定である。

4. 説明の実施に必要な方法に関する規程を作成するための予定措置

医療安全管理マニュアルの「インフォームド・コンセントの基本的な考え方」を医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他の説明の実施に必要な方法について見直し、一部改正を行った。

5. 診療録等の管理に関する責任者を配置するための予定措置

診療録等管理に関する要項を制定し、平成28年8月26日付けで、診療録等の管理に関する責任者を配置した。

要項には、診療録等の管理に関する責任者の配置並びに定期的に診療録等の記載内容を確認すること及びその確認方法等について定めている。

6. 規則第9条の23第1項第10号に規定する医療に係る安全管理に資する措置を実施するための予定措置

入院患者が死亡した場合または死亡例以外の場合に対し、従事者から医療安全管理部門への報告は、規則を定め体制は整備されているが、報告等の実施の状況が不十分な場合における従事者への研修及び指導については、平成28年9月末までに整備する予定である。

7. 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口を設置するための予定措置

平成28年7月20日付けで「医療安全管理にかかる内部通報に関する内規」を制定し、内部通報窓口及び通報方法を定め、内部通報窓口を設置した。また、内規ではその他、匿名性の確保及び情報提供者が不利益な取り扱いを受けることのないよう規定している。

8. 医療安全管理部門による医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び従業者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認実施のための予定措置

医療安全管理委員会で定めた医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についてのモニタリングを平時から行うことについて、平成29年3月までには調査、確認、指導など実施方法を確立し、実施する。

9. 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

平成29年3月までに高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門を設置する予定である。

10. 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

平成29年3月までに高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を制定する予定である。

11. 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

平成29年3月までに未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門を設置する予定である。

12. 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

平成29年3月までに未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を制定する予定である。

13. 監査委員会を設置するための予定措置

平成29年3月までに、監査委員会に関する規則を制定し、医療法施行規則第9条の23第1項第9号に規定する監査委員会を設置する予定である。

14. 他の特定機能病院の管理者との連携による立入り及び技術的助言を遂行するための予定措置

立入り、受入れの方法や内容については、厚生労働省から示されると説明を受けているが、現在のところまだ示されていない。今後、厚生労働省から示される立入り及び受入れの方法、内容を参考に来年度から実施する予定である。

15. 職員研修を実施するための予定措置

医療法施行規則第1条の11第1項第3号並びに第9条の23第1項第14号に規定する研修については、平成29年3月までに必要な事項を従来の研修に追加して計画する予定である。なお、平成28年度中に設置する予定の監査委員会からの意見表明に関する事項については、平成29年度から実施する予定である。

16. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

国立大学附属病院長会議が実施する研修（今後検討予定）に来年度から参加させる予定である。

17. 医療安全管理部門の人員体制

・所属職員：専従（4）名、専任（0）名、兼任（15）名  
うち医師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（11）名  
うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（1）名  
うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（3）名

18. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

平成29年度中に専従の医師1名、専従の薬剤師1名を新たに配置する予定である。